



The End of The World

VOLUME

3

R-18

МАГАЛМИОНОВА СОЛНАБАШЕЛЕН PERSONA 4 FAN BOOK



A high-contrast, black and white graphic illustration. The central focus is a hand holding a pen, rendered in a stylized, almost abstract manner with thick black outlines and flat areas of white and grey. The hand is positioned as if writing or about to write. In the background, there are large, curved shapes that resemble a lens or a stylized eye, also rendered in high contrast. The overall composition is dynamic and graphic, with a strong sense of form and shadow.

The End of The World

君にあいつは
救えないよ

君がどうして
そんなにあいつに
執着するのか
知りたがるのか

救いたいつて
思うのか
知らないけど

それは
無理な
事だよ

もう全てが
終わった
後だもの

もうあいつは
世界を諦めて
しまっている
から

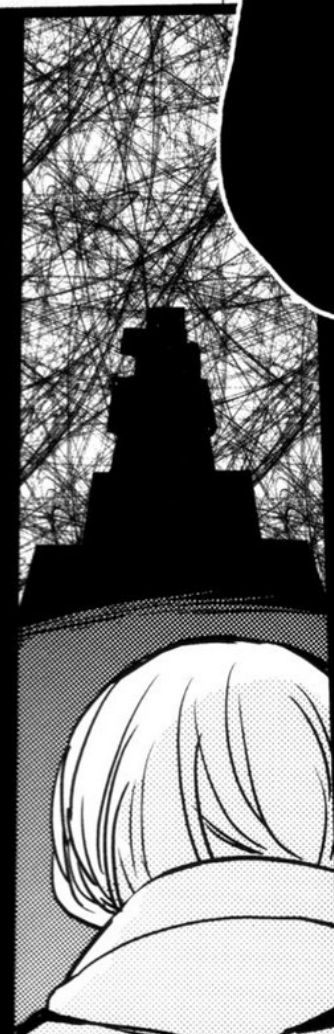
君も
諦めなよ

もう何しても
無駄だよ

あいつの心には
もう何も
届かない

どんな
事をして

あいつの世界は
変わらないよ



無駄なのに…
何でそんなに
頑張んの

知って
どうすんの
好きだから？
それだったら
より嫌でしょ

人の
汚い部分
なんて知りたく
ないでしょ

何で君は
そんなに
頑張るの？
分らないよ

馬鹿なの？

何で僕なの

何で？

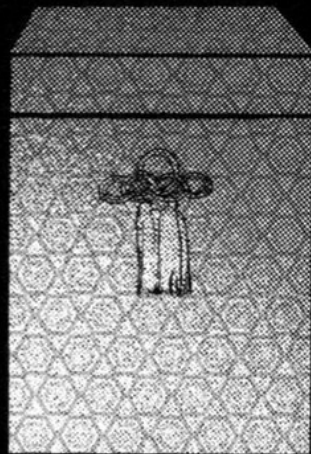




The End of

The World

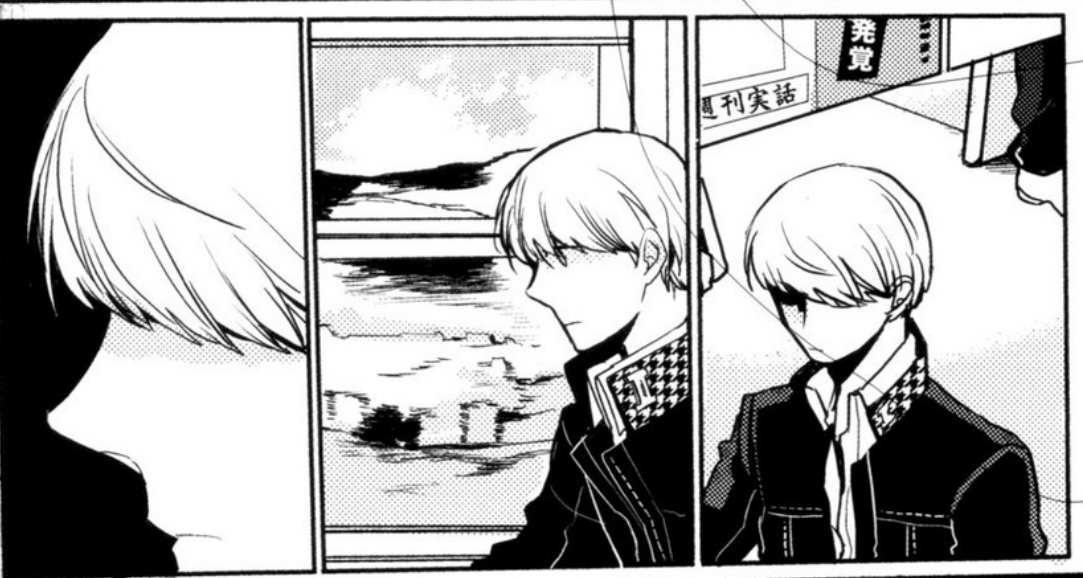
俺が世界を
最初に繰り返したのは
貴方の死が
切っ掛けだった



なりました

お世話に

不運





……は



……



電車の中？





時が…

戻ってる？



こんな事が…

…何で



次の停車駅は
八十稲羽

八十稲羽へ
お降りの方は
ご準備下さい



同じだ：
俺が初めて
八十稲羽に
来た時と

なんだ
これは…

おう、写真より
男前だな

ようこそ稲羽市へ
お前を預かる
事になる
堂島遼太郎だ

手が勝手に

こっちは娘の
菜々子だ

ほれ
挨拶しろ

……
にちは…

はは、こいつ
照れ
てんのか？

いてっ
はは

さあて
じゃあ
行くか

すっ

すっ

車、こつちだ

繰り返した世界は決められていた

真実が
知りたいって？

それなら
捕まえてごらんよ



なるほど…
確かに面白い
素養だ、でも…

簡単には
捕まえられ
ないよ

求めている
ものが…

「真実」なら
なおさらね…

誰だって
見たいものだけを
見たいように見る

いつか…また
会えるかな



…何度目だ

…ことは
別の場所で…

また同じ
一年を

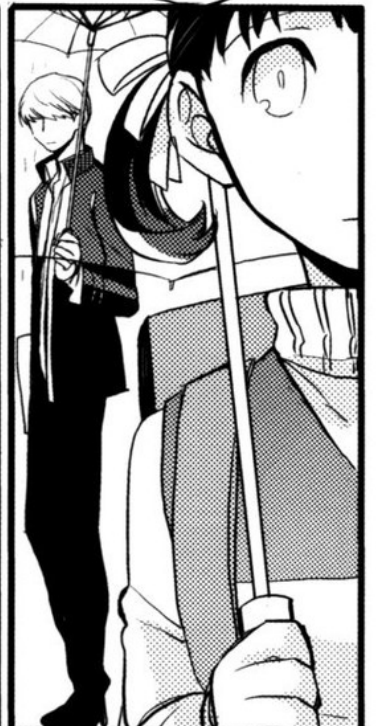
繰り返す

とちゆうまで
おんなじ道
だから
いつしよに行こ

学校あそこの
道まっすぐ
だから

わたしはこつち…
それじゃあね

ザ"アア





また…

貴方は
殺して
しまった…



こいつの
保護者の
堂島だ

あ…その
仲良く
してやってくれ



とにかく
三人とも

ウロウロ
してないで
ささっと帰れ





自由の様に
不自由で



繰り返す
世界は

貴方に
届かない



それはまるで
見えない何かに邪魔されて
居るかの様で



声が出せなくなり
身体が動かなくなる

貴方を人殺しにしたくないのに





この世界で初めて貴方に会う時には



貴方はすでに殺人者になってしまっている

このゲームを続けてしまうのか



貴方は何故そんな目をしてまで

繰り返す世界で
俺は貴方を知ろうと
した、だけど
貴方は笑って流すだけで
俺という存在を
貴方の中には
入れてくれなかった

いや：
俺だけ
じゃない
この人は全てを

拒絶していた



現実なんて基本は退屈で
辛いだけだろ？

みんなこんな世界認めてない
ただ否定する方法がないから
耐えて生きてるだけだよ
うまくやれる奴は初めから
決まってるのさ。

「才能」ってチケットを持つてる

そうじゃない奴には自分が
違うって真実を見ずに人生を
終われるかそんな選択しか無い
気付いちやったら絶望だけ
ゲームオーバーだ



世界の全てを

拒絶していた



現実に目を向けたって
嫌なことばっかで
変えようが
ないんだからさ

正直もう

いらなんだよ





行けよ…
 僕はもうダメそうだ…
 ここでシャドウにでも
 喰われてやるさ

ちげーよ

構うな…
 元々僕を
 殺しに来たん
 だろう



殺されたかった
 んですか？

足立さんは



最後に
面会した時
あいつは
笑っていたんだ

死刑宣告
された時も
笑ったんだろ
反省してねーよ



ここに瀕死の
テメエ置いてって…

いつか死体が
上がって？
そんなん何に
何だよ…

つまねえ遊びは
終わったんだ
テメエは連れて帰る

生きて裁きを
受けなよ

それが現実の
ルールつて
もんだろ

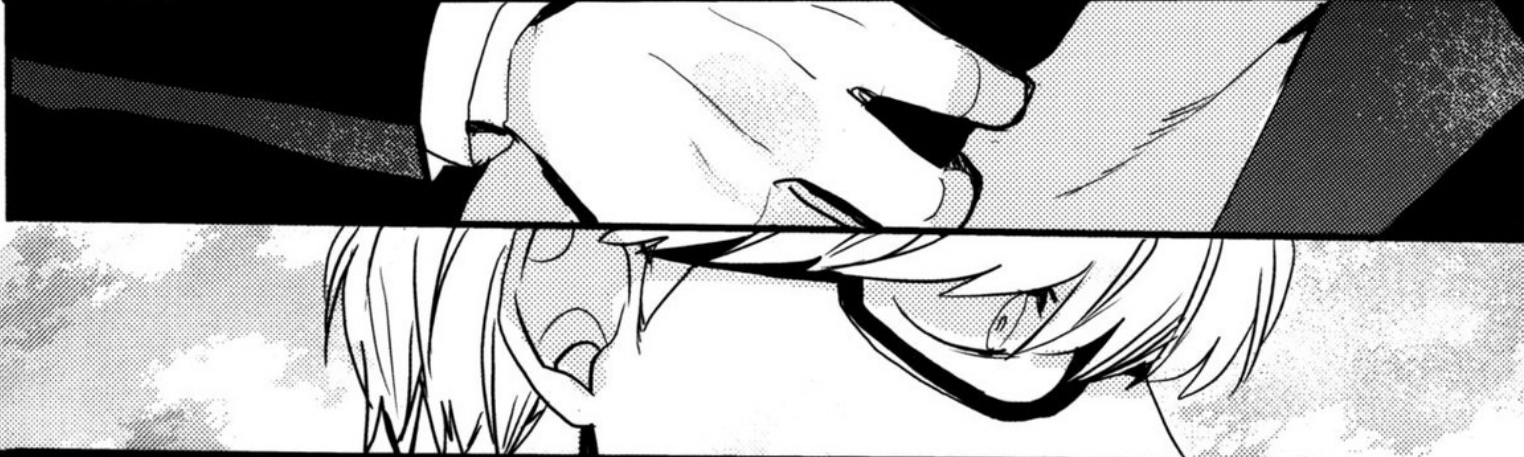
足立さん…貴方は…

堂島さんも…

それを一番
望んで
いるでしょう

そうか…

そうだな…



生田目が捕まった時と同じで、事件を立件出来る確率は低かった

生田目が捕まった時と同じで
事件を立件出来る確率は低かった
だが犯人である足立さんあの人が
全面的に事件は全て自分がやったと
事件を作りあげてしまった

言った
でしょ
僕頭脳派
なんだよ



電柱にぶら下げる異常性



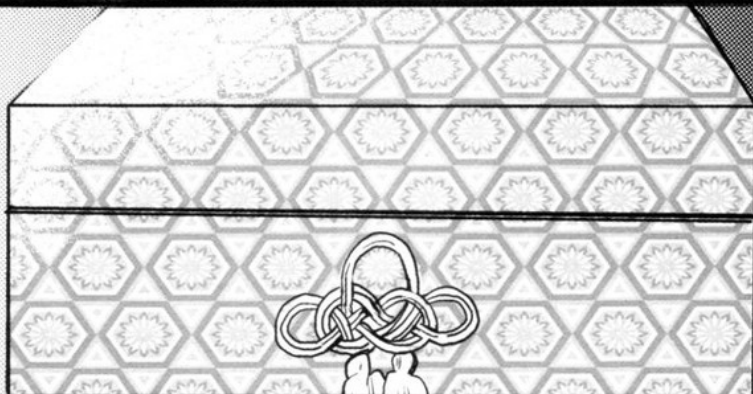
証言に多少の矛盾があっても
警察は同僚が起こした
犯罪を早く処理したく

また世論からも
強い死刑判決が求められ
凶悪犯足立透の死刑は求刑される

そして貴方は刑務所の
中で自ら死を選ぶ



決められた

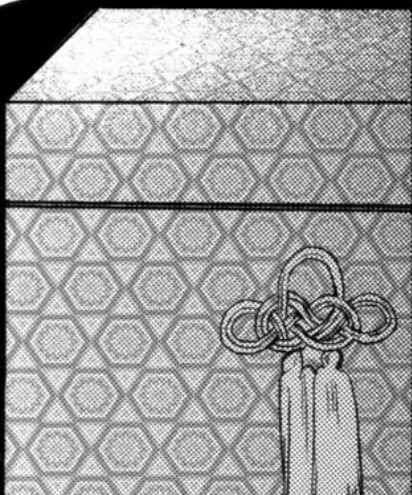


世界

足立さん

貴方は…

裁かれたかった
んですね



貴方が
作り出した
あの町は

禍津稲羽市は
貴方の思い
ままだった

戯れに
遊んで退けて
世界が沈む
その日迄

俺達を遠ざけて
1人の世界に
閉じこもる事も
出来たのに
それをしなかった

貴方は
裁かれ
たかつたんだ



そして



死にたがつていた

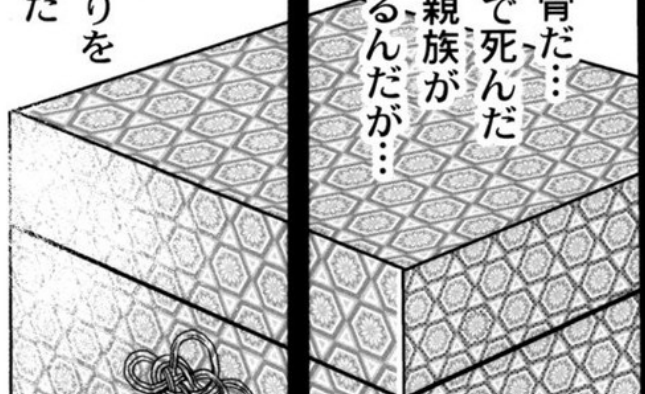
いや…
消えたがつていた？

同じ事だ

あの人は
もういない

足立の骨だ…
刑務所で死んだ
普通は親族が
引き取るんだが…

親族は
受け取りを
拒否した



こいつは
俺と
一緒に
墓に
入れる



足立の骨は
俺が死ぬ迄あの家に置いておく
一年…短い間だったが…こいつは
俺の相棒だった…



こいつを1人…共同墓地で
無縁仏にはしたくない



死んだ後でも

1人だなんて…
悲しすぎるだろ



堂島さん…

足立さんの事

教えて
くれませんか





…そうだな…



足立さんの事
知りたいんです…



俺は…

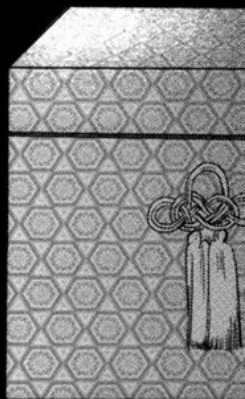


はじめまして足立透です
貴方が堂島遼太郎さんですか？



足立と初めて
会う時まで
俺は足立を
良くは思っ
ていなかった
本庁からへまやつて
飛ばされたエリート崩れ
世の中舐めてそうなガキ
だろうそう思っていた

生きている足立の
事を知って
くれてる奴が
この世にいるのは…
こいつの為にもなる
かもな…



僅かな違和感を感じた



人懐っこい柔和な笑顔に
話し方



どこか演技めいてる

歪な不自然さ

子供の頃は
よく登つて
たんすよ

勉強
ばつかだと
思いました？

あーでも
最後失敗し
ちやつて

クリーニング代
出ないの
痛いっすねー

またあの違和感

どうしました？

いや…

なんでもない

こいつの目は
どこかで
見た事がある

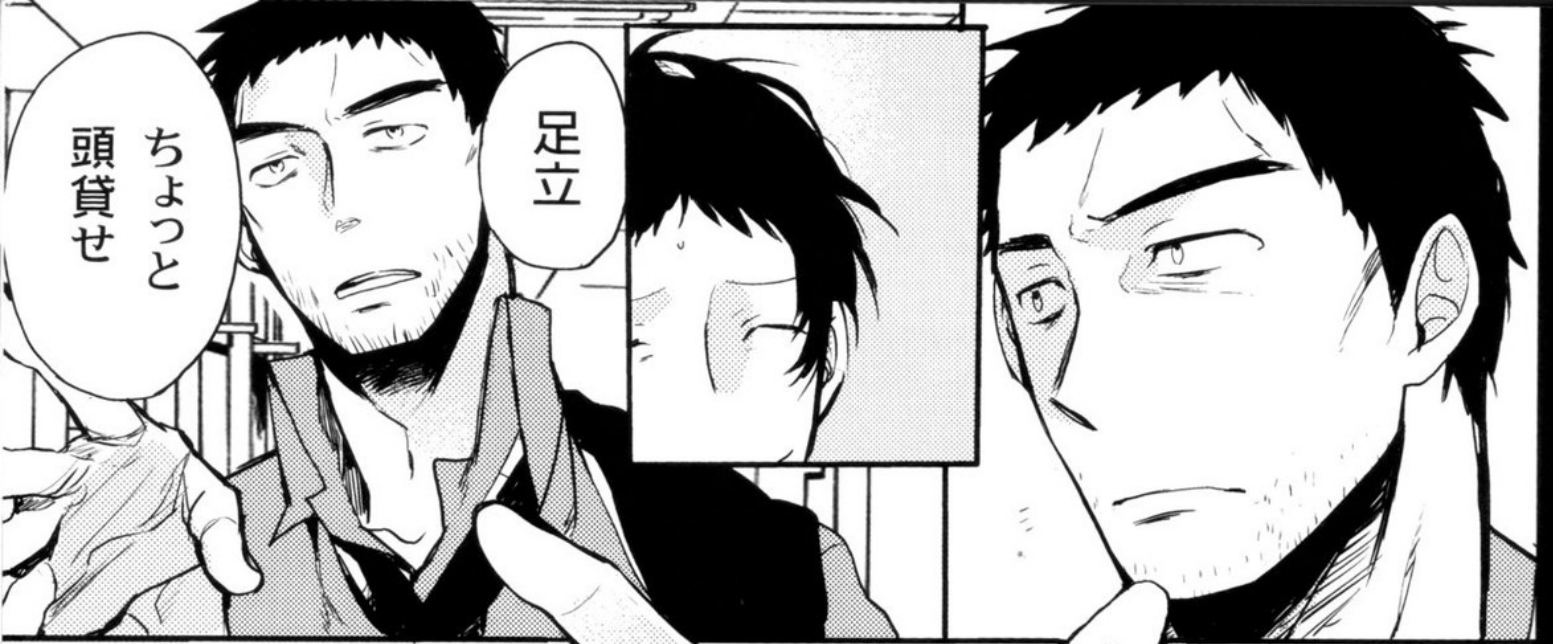
今夜
飲みに行くぞ
付き合え足立

え！

うっそー

今日もですか？
飲み過ぎですよー？

こいつは
1人にしてはいけない
奴かもしれない





あの違和感が無い





はあ

どうも

足立

お前に手紙だ
この前の猫探しの
猫の飼い主の
女の子からだ

はい？

あ、大丈夫つすよ

中身はちゃん
読みましたから

おい！

足立！どういう事だ
手紙捨てられてたぞ

ありがとうございます

？

そういう…

そういう
問題じゃ
ないだろ

せっかく
もらった手紙
だろ

大丈夫ですって
無くなつても
僕記憶力良いんで
内容覚えてますよ

「家族をみつけて
くれて有り難う
ございます刑事
さん」

「いなくなった
ミルクは本当に
大事な家族で
みつかつて
嬉しいです」

「不安で
しかたなかった
けれど刑事さん
本当に有り難う」

「やっぱ
刑事さんは
正義の味方
凄いです！



.....
また読み返したくなるかもしれないだろ

内容を覚えていても手紙にはその人の想いが詰まってる大事に持てる



可愛いですよね
こっちは仕事でしかたなくやってるのに

刑事が正義の味方って
純粹に信じてる



.....
読み返したり
しませんよ



あ、それより
昼飯どうします？
僕お腹ぺこぺこ



足立...





足立

……

ふあ？

いきなり
なんすか？

お前親に
この町に来たつて
連絡したか

本庁から
飛ばされて

今居る
場所……

俺達は刑事だ
何があるかわからん
今居る場所だけでも
連絡しておけ

……だが

親と連絡
なんてしばらく
とつて
ないつすよ

大人になつたら
そう頻繁に
連絡取るもんでも
ないですし

田舎の
所轄に
居ますつて



かっぴんニッすねー



長年刑事をやっている
色んな奴に会う
人の見る目は
あると思っていたが

この足立透と
いう男は
不思議な男
だった



もう少し反発してくるか
思っただがそれも無い
時たま微かに感じる
違和感…



本庁で
エリーとやつてた
奴が些細な
ミスでこんな
田舎の所轄に



時おりどこか遠くを見ている様な



空虚な目

堂島さん

またあの夫婦の喧嘩ですよ

近所からなんとかしてくれって苦情の電話が

まったく

警察は何でも屋じゃないってーの

適当に

暇してる奴に行かせますね

さや

俺と足立が行く

お父さんとお母さんは中だな

入らせてもらおうぞ

ああ…この目だ



すぐに終わる
ちよつと待つてろ
大丈夫だから

…お前が謝る事じゃない

ごめ…
ごめん…なさい

なり？



諦めた様な
何かに縋る様な

助けを求める様な

子供の目



足立

お前が何故
そうなったのかは
俺には分らん

お前も言う
つもりはないだろう

だが

お前にどんな過去があらうと

この子を
見ておいてくれ

俺は中に入って
仲裁を
する

頼んだぞ
足立

お前は俺の相棒になる
為にこの町に来た

本庁でどんな事を
していようと

え？

居場所なんてもんは
無くなつても

新しく
作つて
いけるもん
なんだ

そいつが
望みさえ
すれば

それじゃくれぐれも
もう騒動は
起こさない様に

近隣住民の
迷惑になる

息子さんが
外で泣いて
いた

早くに
やる

ごめん

ごめんね……

お母さん
しっかり
するから

お母さんと一緒に
暮らそうね
貴方だけは

離さないから
大好きよ



……っ

……っ
うん!



僕

強くなる

お兄ちゃんは

一人でも
大丈夫な様に
強くなるしか
無いって
言っただけど

僕は
母さんの為に
強くなるよ



そいつが望みさえすれば



こいつは…
足立は

ニュースでの報道で
知っていると
思うが

親や親族
そいつの繋がり
が希薄だった…

一人で生きて来た
こいつにとって本庁から
の左遷は俺が思ってた
以上の深い挫折だった
んだろう

…だからって…
あんな事件を…

足立との付き合いは
短かったが俺には…

あいつが直接
女を殺して
アンテナに吊せる
様な奴には
見えなかった

お前が言ってた
不思議な力や
世界…そんなものが
本にあるの
ならば…可能かも
しれないが…

生田目の時と
同じで
立証するには
不可解な事件
だったんだ

それなのに
あいつは

勝手に一人で
全部背負ったまま
死んだ…

馬鹿野郎…

…

お前に
言われた通り

あいつに
面会した
時に言った

自分から
命を絶つ様な
事はするなと

弁護士を通じて
連絡してたが…
やっと面会に
応じたな…
少し痩せたか…？

俺はお前を
相棒と今でも
思ってる

お前が背負うで
あろう罰も
一緒に償っていきたい

お前の居場所は
この世界にも
あるんだ

堂島さんは
相変わらず
頑固つすね…

僕の事なんか
早く忘れてしまえば
らうぞ…

いや…忘れようにも
忘れられないかな…
元相棒が連続殺人
起こしてしかも担当の
事件だった…署内での
風当たりきついでしよう

憎んで
いいんですよ…
相棒なんか形に
見えないものに
縛られないで

僕の事、憎めば
良いんです騙されて
いたんです貴方は
赤の他人の殺人者に



俺とお前は
赤の他人
じゃない

お前と一緒に
過ごした日々を
俺は忘れたりしない

俺とお前は
今でも相棒だ

……はは

流石
鬼の
堂島だ

しつこいっすね

ああ…俺は
しつこいぞ…だから
いつまでも待つ
帰って来い
お前の居場所
あるんだ

…
有り難う
ございます

堂島さん…

でも…
僕は
従わないと
いけないんです

世界のルールに

その為だけに

僕は

今ここに
いるんです

足立…

貴方は僕の様な
奴に捕われては
いけない…

ガ
タ
ツ

堂島さんには
未来があるんです

本当に…

有り難う
ございます
堂島さん

僕は…

最後に
貴方に…

貴方達に
出会えて…



.....
時間です
堂島さん

来て下さって
有り難う
ございました

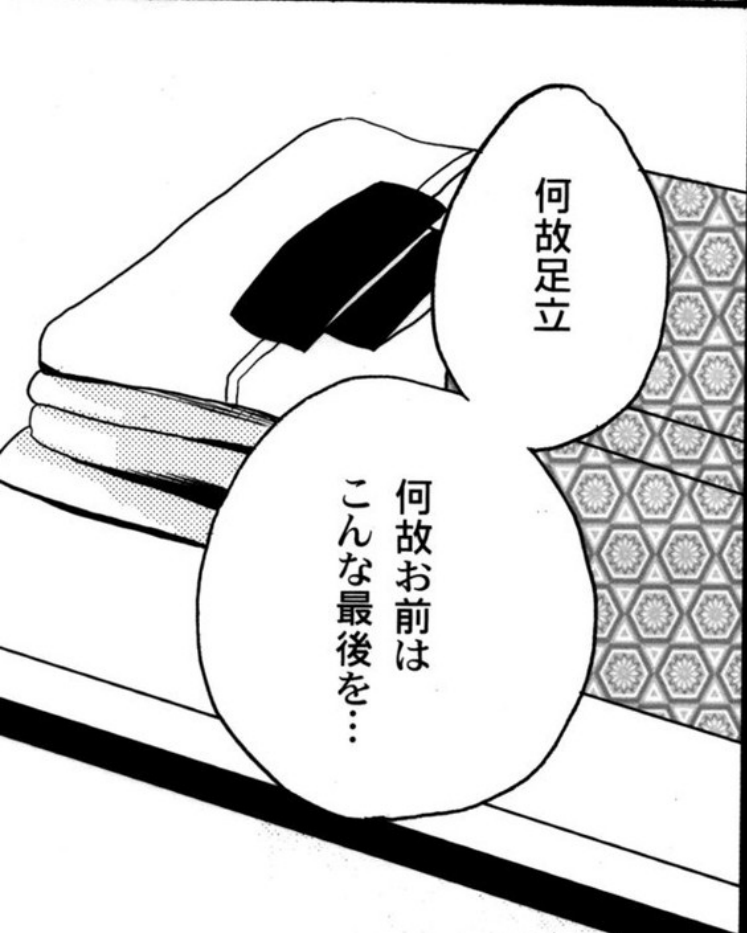
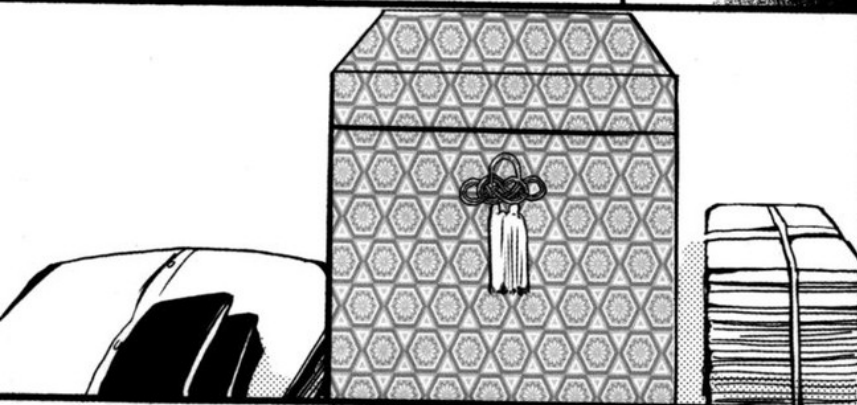
足立

さよなら

足立っ！



お元気で



何故足立

何故お前は
こんな最後を...



何故だ...



馬鹿野郎

こんな...

こんな形で
戻ってくる
やつがあるか...



俺は
足立の
相棒だった

あいつを一番
近くで見っていたはず
なのに…最後迄…
あいつの本心は
分らなかった

俺は…

あいつの
足りない何かを
埋めてやりたいと
思った

お前に
マグカップを
渡した時に
言った様に

遅くは無い
あいつの居場所を
この町で一緒に
作ってやれたらと…



だがあいつは
頑に一人だった

一緒に家で
食卓を
囲んでいても

あいつは1人
だったんだろう

あの家は
あいつの
居場所には
なれなかった

……
菜々子が
言っていた

事件のあった年の
夏休みの読書感想文
…お前が手伝って
くれたと言っていたから
知っているだろう

本の内容は
王様が森の中で
1人でいて

1人だから怒る事も
悲しい事も無くて
王様は幸せだと言った
そんな話だ





ああ
間違っていない



お兄ちゃんも
菜々子も
1人ぼつちは
寂しいって
思った
んだけど
足立さんは？
1人ぼつちは淋しいよね？

その本の事を
足立と話した
事があった
そうだ



間違っていないよ
1人ぼつちは寂しい
それで間違っていない
でもね菜々子ちゃん
1人であるのが
好きな人も
世の中にはいるんだ



僕は1人がいいな...
1人の方が気楽でいい



1人は寂しくない？
1人ぼつちは？



足立さんは...
ああ言っていたけれど...
お父さん...菜々子が
居なくなつた時
凄く泣いたつて
大人の人でも...
悲しい...んだ...
つて思ったの...
だから...



それに僕は大人だから
1人でいても寂しくはないんだと

菜々子は…
足立さんが
居なくなつて
しまつて
悲しいし…

ひとりぼつちは寂しいと思うから…

足立の起こした
事件で人生を
狂わされた人間は
多い

被害者にも
もちろん
身内がいる

娘を不条理にある日
いきなり殺された
親がその犯人の
死を願う…俺にも分る

分りすぎる
ほどにな…

何で菜々子が死んで
あいつが生きてる！

俺は…
菜々子の心臓が
停止した時
この世界を呪つた

何故こんな事に
なつてしまったんだ
こんな運命を仕組んだ
神つて奴がいるなら
殺してやりたいと思つた

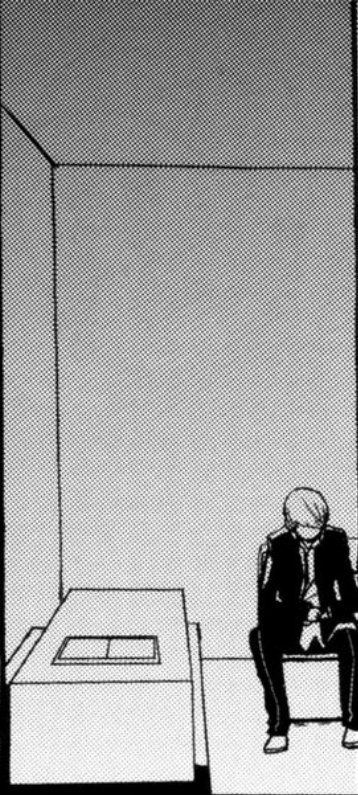
もし…あのまま…
菜々子が
死んでいたら…

俺は…
足立を…

許せて
いただ
ろうか…

そんな事を
時々考える





そんな事に
なっていたら

憎んでしまう
かもしれない

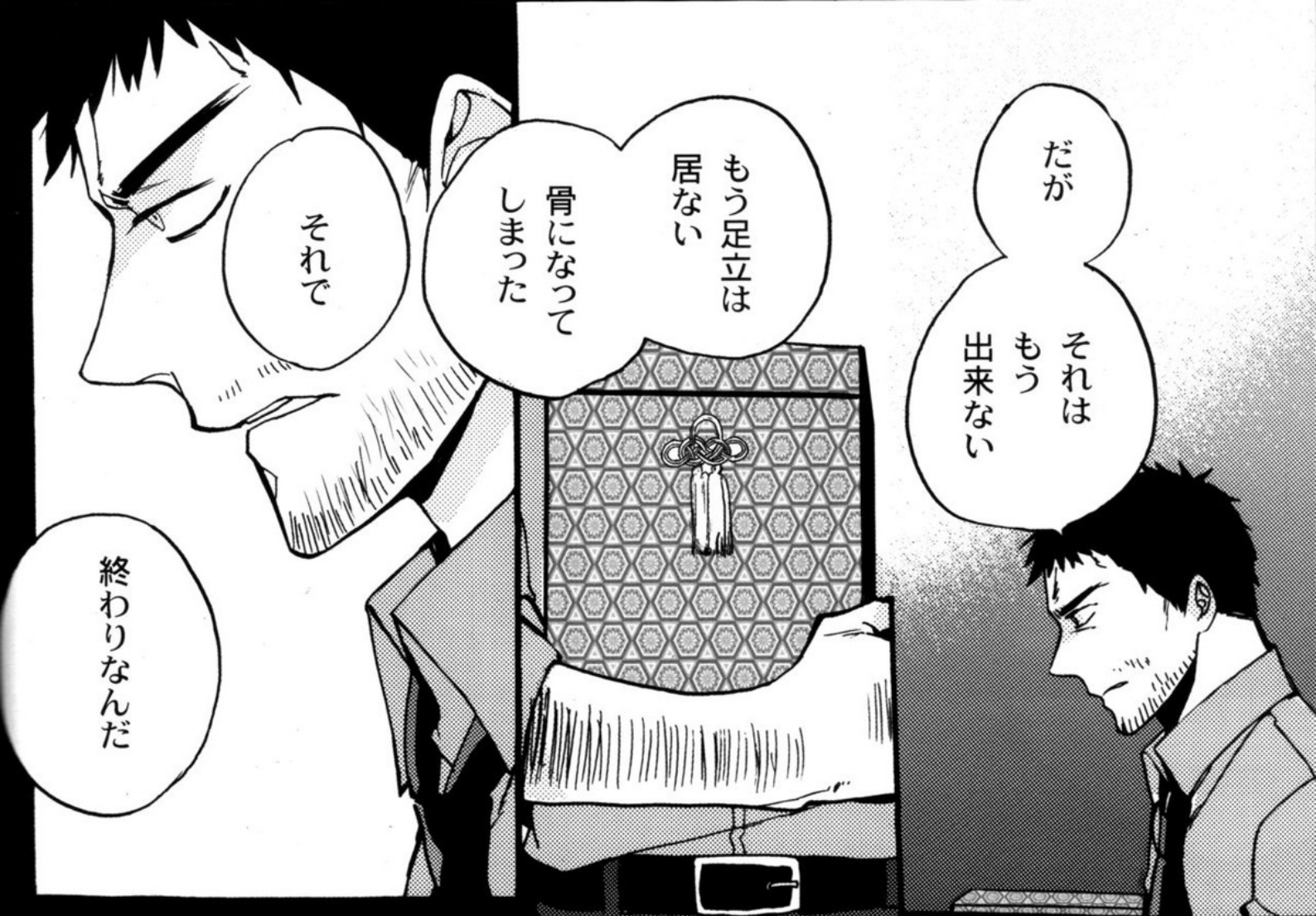
だが

それと同じ
ぐらい思うだろう

何故足立が
あんな事を
したのか

本当のあいつを
知りたいと

真実を
知りたいと



だが

それは
もう
出来ない

もう足立は
居ない

骨になって
しまった

それで

終わりなんだ



あいつには

足立には二度と
会えない



もしも二度
足立に会えるの
なら…

俺はあいつと
もう二度

あの家で一緒に
飯が食いたい

馬鹿野郎
叱ってあれ
話を聞いて
やりたい

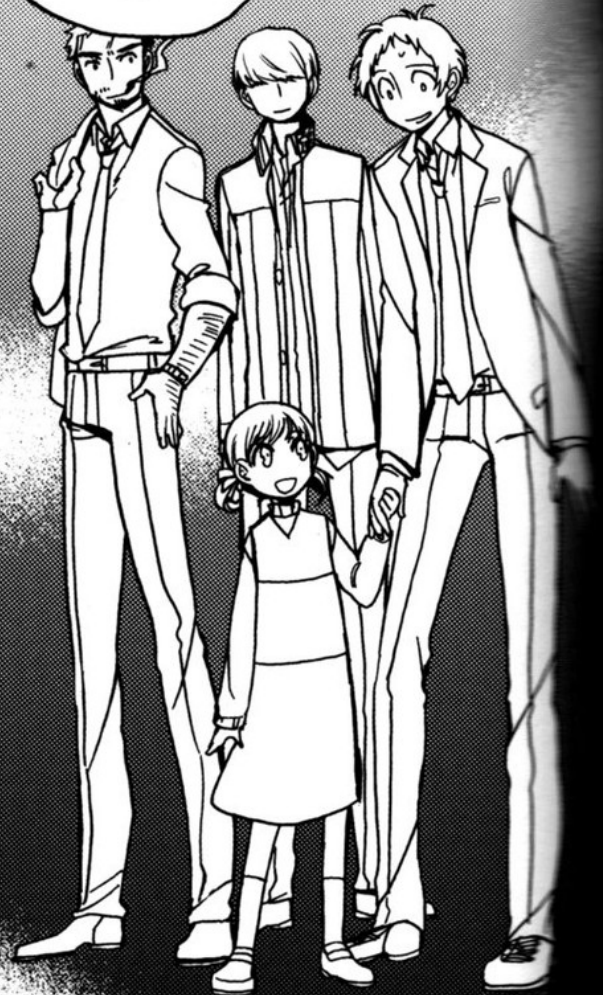
家族つて
もんは…血
じゃない…

繋がりだ…
そういうもんだと
俺は思っている…

それも…
足立にとつては
いい迷惑だった
んだろうがな

…そんな事は
ありません

足立さんに
とつて堂島さんとの
繋がりは大切
だったと思います



足立さんの
遺品の中に
ネクタイが
あった

刑務所の
中でさえ
大事に持って
いたんです

足立さんに
とつて堂島さん
貴方の存在は
大きかったんだ

…

気付くのが
遅かった…

いや気付いて
いたとしても
手遅れだった…

足立…っ

どうすれば
よかった



俺は…

足立に
死んで欲しく
無かった

堂島さん

俺も…

そう思います



俺は世界を巡る

再び貴方に会う為に



決められた世界

無駄だと分かっていても

繰り返す決められた世界でも
僅かだが変化はあった

俺が…
俺が諦め
さえしなければ

この世界を変えられるのではないか



事件が
起こらない世界

そんな世界が
来るのでは
ないかと…

貴方が
罪を背負わない
世界が来るの
ではと

もう…

希望を信じ

1
回

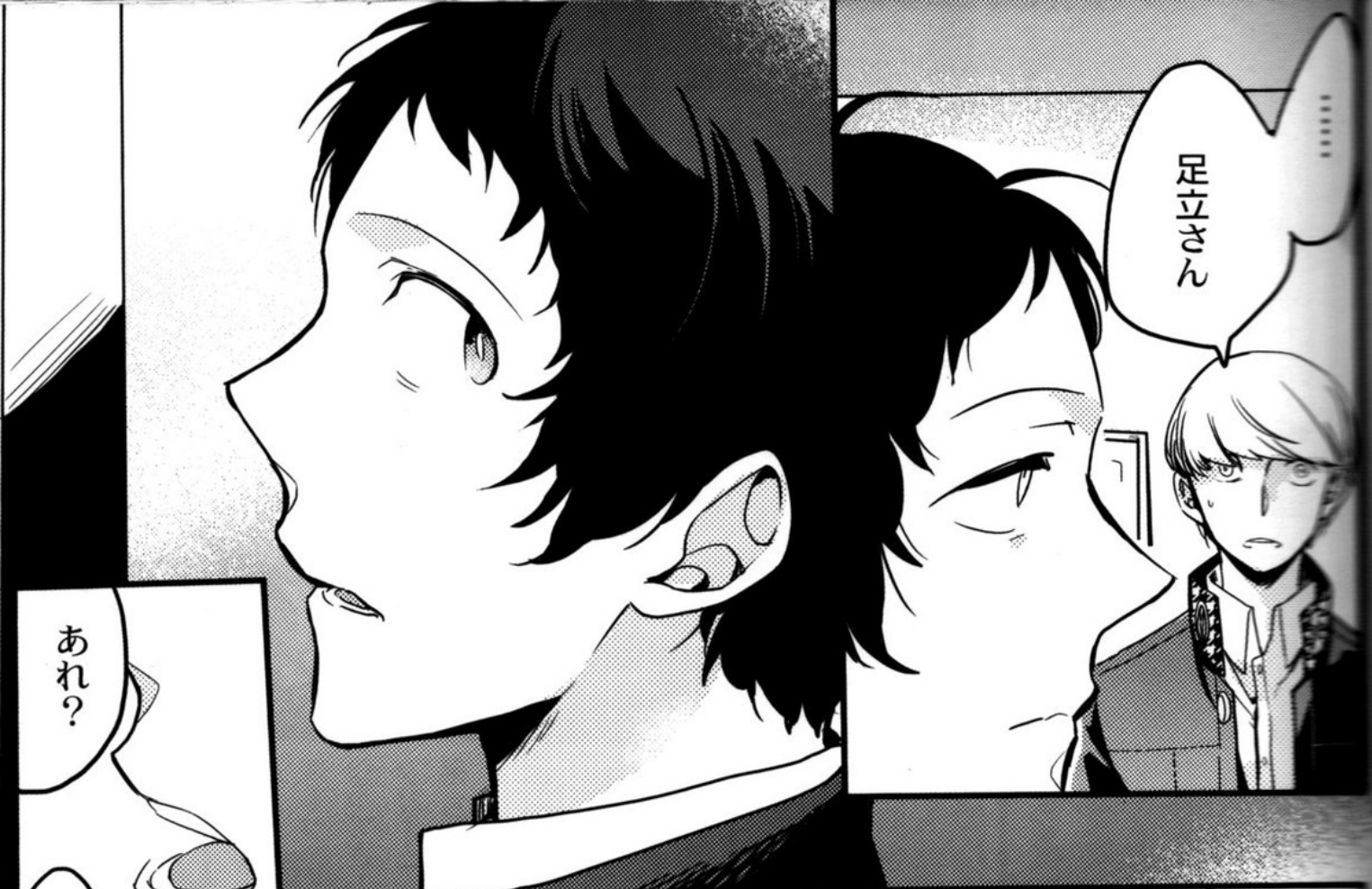
そしてある時
世界は大きく変化した

ジュネスで暇そうに
してんの見たつて
話が度々
上がつてんだ

つたく
こんな時期にサボリ
なんてバレたら
アイツがどんな処分
食うかわからん

ジュネスで
足立見かけたら
お前から
キツク言つて
やつてくれ





足立さん

あれ？

あー君か

どうしたの？
僕に何か用？

……
堂島さんに
言われて
きました

やだなあ
仕事に決まってる
でしょ？

ホラ、人の話
聞きやすいから
さ捜査しやすいん
だよー、ここ

それに夏も涼し
いし冬は温かい
でしょ？中々良い
穴場見つけたと

……とと

ま、そういう
事だから！

あ…

足立さん

足立さんお時間
ある様なら
つきあってくださいか

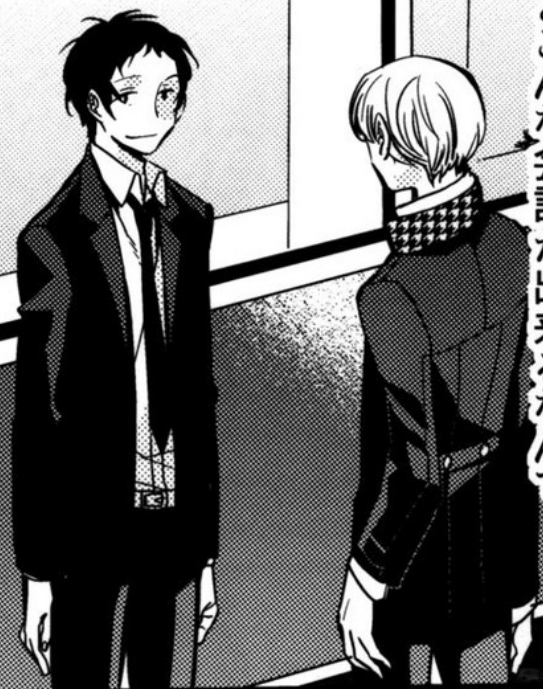
君も
変わってるね

あ
そっか？

こんな事今迄に無かった

貴方に拒絶されない

貴方とこんな会話が出来るとは



僕なんて
ここ来た時の
初仕事猫探し
だよ

スーツ泥だらけに
なつてさー
クリーニング代経費で
落ちないし

次は夫婦喧嘩の
仲裁だつけそんなの
警察がいちいち出張つて
らんないつて

知っている…
堂島さんから
聞いた

でも最近は何騒に
なつたからのんびりと
してられないん
だけどね

ホラ、例の事件
まだ解決してない
訳じゃない？



上層部も手え
こまねいてさ
現場方針ころころ
変わっちゃつて

…あ、ごーめん！
不安に

させちゃつたかな？

君達は安心して

いいよ、うん

ここは僕ら警察が
何とかするからさ

彼の事を知りたいと願つた



貴方を少し解れた気になった



だからか

そして俺は貴方を
知っていく



あれ？
まだいたの？

ヒマなら
僕と話してか
ない？



こんな時間に
どうしたの？

最近は物騒だから
早く帰りなよ？



君もヒマだねー
堂島さんに
怒られちゃうよ



事件の犯人という事を
隠していたずらっぽく笑う



それは見事な道化の顔



だがその道化の顔の
隙間から
時おり垣間みられる
表情

総菜大学

参るなよなあ
人んちでサシで
夕食とか
気まずいでしょー

だいたいあの煮物
レンコン硬くて
苦手なんだよね



勉強ばっか
してたよそれなりの
進学校でさ成績が
全て

親も成績さえ
良けりや何も
言わなかったしね



でもさー…
そんなんで上手く
いくのはやっぱ学校の
中だけなんだよね

仲間内で足引っぱり
あったり責任押しつけ
あったり大人は大変だよ

笑う顔！

道化の下の本当の顔



それが
道化でない保証は
どこにもない

それでも俺は貴方との
繋がりを信じたかった



貴方を知りたいと願い

この世界で産まれた

繋がりを



手先は...
出来ちゃうんだよね
こんぐらいは

マジシャンになれば
よかつたかなそしたらこんな

シツ？

シチュウ！

シツ！

ブツブー

言えた
もんー！！



楽しそうに
笑う貴方の顔は

嘘なんかじゃない
でしょう？



読書感想文？
あとがきだけ読んで
まとめるのの中身は
読まなくてオツケー

読書感想文じゃ
なかったあのね
読むんだって読んで
しるしもらうんだって

足立さん
しるし
くれる？

えー僕？
あーいいよ
上手かったら
花丸あげる

花丸ほしい！

ふかいふかい
森のおく
ほそいほそい
川のそばに
ピンク色の
ワニがすんで
いました…

足立さんは1人は
寂しくない？

僕は1人がいいな

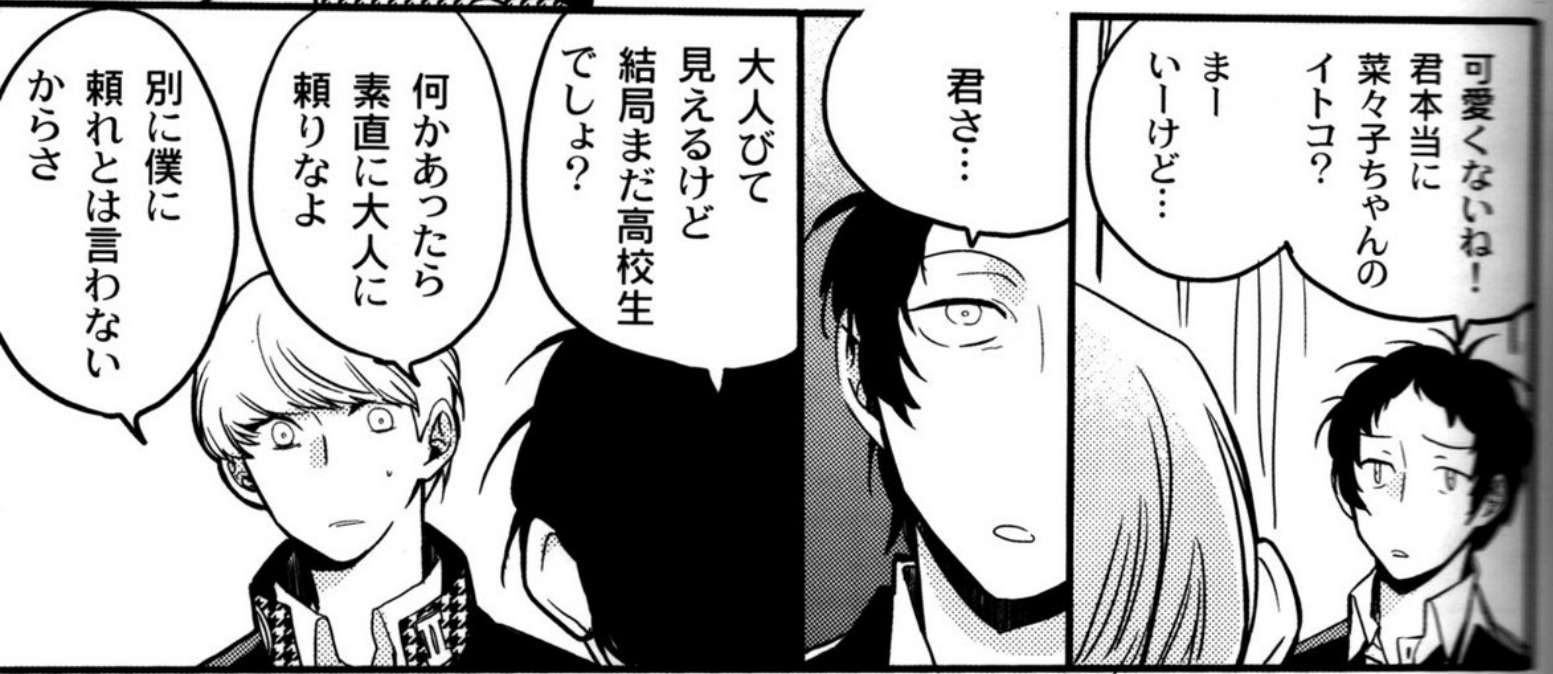
貴方は

1人で

…ピンク色の
ワニの事は
誰も思い出し
ませんでした

それでも
みずうみは
今日も
きらきりと
かがやいて
いるのです

…おしまい



あー疲れた
ちよつと寝てつて
いい？

例のお婆さんが
署にお見合い
写真持ってきたやつて
いい子だから
会えとかなんとか

結婚とか…

ありえない
つての

おかげで
残業

けっこん
いやなの？

結婚なんて
人生の墓場だよ

菜々子ちゃんも
あと二十年したら
分るんじゃない？

…わー
無理
だなー
つていうか
菜々子ちゃんと結婚
する人つて堂島さんが
お義父さんにな
るのかー

菜々子ちゃんは
無理だなー

足立さんにとってこの
繋がりが貴方の
未来を変える



この繋がりに
希望を託した

あらあら
「刑事さん」

透ちゃん
こちら刑事の
「足立さん」



結局

俺じゃなくても
いいんだよなー



あれが本物？
ねえ？

どかが僕と
似てるんだろ

歳も全然
違うしさー

一緒なの名前
だけじゃない？

まあでも本物が
いるうちは

相手しなくて
いいから

助かるよ

ひどいお婆さんだ



僕が息子の
身代わりだって
意味？



やっぱ君
子供だね

本当に欲しい物が
手に入るのはごく
一部の限られた
人だけだよ

だからみんな
代替品で我慢
してる

…必死で
自分を
騙してさ

僕はね、一人の方が
好きなの

気楽だし
自由に立ち回れるしね





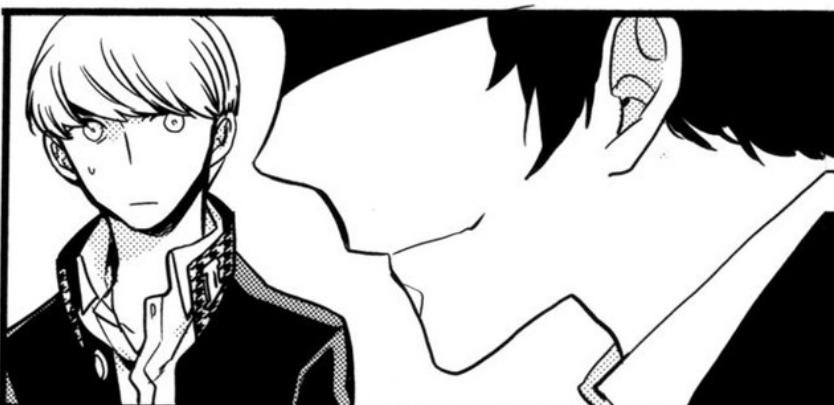
でも
孤独だ



…どつちが
楽か…
って話さ



あの息子
硬いレンコンが
好きなんだ
ねー



いつも
残してたけど
結局ずっと何も
言われなかった
なあ

その頃から
嫌いだった
んだよね

うち、母親が
作る煮物も
レンコン硬くてさ



ホント
気が知れないよ

ずっと硬いまま
だったよ
…僕が嫌いな
知らなかったん

まっとにかく
これで
しばらくは
肩の荷が
下りたかな

そう笑う
貴方の顔が
寂しそうに
見えて

おい足立!

こんな所に
いやがったか

わ!

堂島さん

なんだ
お前か

ん?
ったく
子供相手に
油売ってんじや
ねえさつさと
行くぞ

悪かったな
こいつが
付き合わせて

お前も
早く帰れよ

ちょ

待って

下さいよ

堂島さん

それは貴方の事を
大事に思っているからだ

…な〜んで

あの人が
謝るんだか



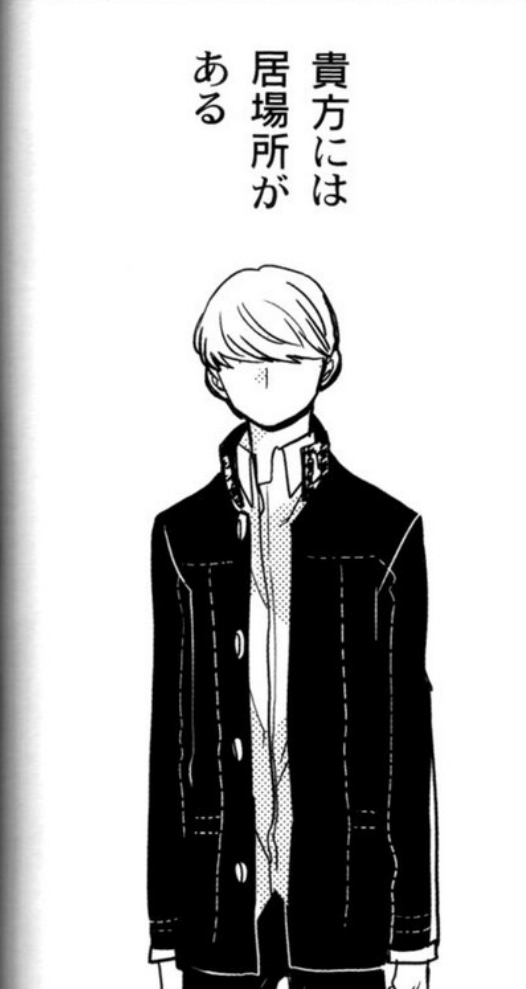
堂島さん
待ってるし



伝えられ
たら



じゃあね
僕もう
行かなきゃ



貴方には
居場所が
ある

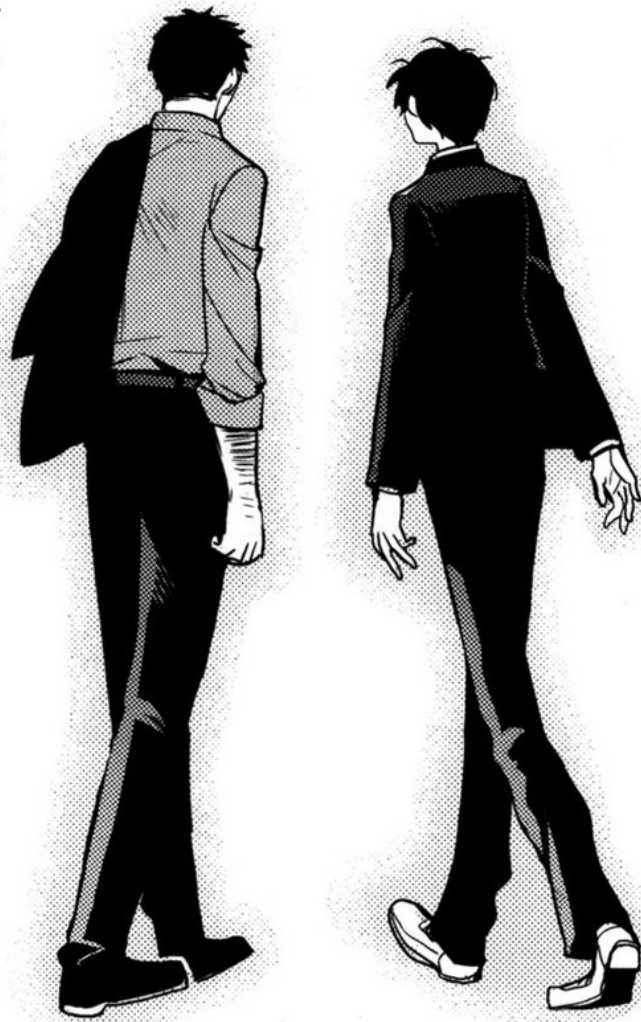


この世界でも

貴方は人を殺してしまおう

それはずっと変わらない

世界の道筋は変わらない



でもこの世界は

前の世界とは明らかに違う

貴方との繋がり…

貴方を知れた事

繋がりや育めた事



それが
何かしらの
変化を
もたらして
くれるはず



この世界が終わっても
あなたが世界から
居なくならない様に

何で

だいたい
君が信じてたのは

君の頭の中で君が勝手に
創った僕だろ？

変化した世界で
育めた

罪が1つ増えるだけだ

俺の勝手な思い込みなのか？

勝手に信じて
勝手に裏切られて
僕に文句言うって
ちよつと
お門違いじゃない？

貴方との
繋がり
でも
それは…

そうだね…
たったそれだけの事だ

…次は外してあげないよ

分らない？
話は終わったんだよ



貴方と育んだ繋がり

歪に変化し



貴方と繋がれて
いるのだと

それでも



安堵した

同じ「カ」が
あるのに…
こんなに
結末が違う
なんてな…

これからやり直せる

それがどれだけ
難しい言葉と
分つていながら

簡単なんだよ…
言うだけならさ…

でも…

君みたいに
生きてたら
少しは違っていたかもな…

弱々しく微笑む
貴方からは
偽りの無い
言葉が伝わって
くるようで…

何故

何故
同じ力を
持っていて
こんなに結末が
違うのか

この世界で
貴方は人を
殺し
俺が貴方を
裁く

決められた
道筋

この世界は
俺の行動で
変化が産まれる

この世界を

変えたい……

可能性を
探し絡まる
糸をたぐり寄せて

誰かのこの世界を創った者の

手の平の上だとしても

貴方が
やったのか

裏切つても…

仲間と歩いて来た
日々を



僕が山野真由美と
小西早紀を
殺したって？

冗談きつぷりよ

じゃあ…仮に僕が犯人だととして
君なにしに来たの？
自首でもさせるつもり？

ふうん…
君にそう言われて
ハイ分りましたって

お縄頂戴する程
甘くないと思うけどね
犯人は

で、そこまで

言うからには証拠
あるんだよね？
僕がやったって
立証出来るもの

話になんないな
証拠も無く
そこ大事でしょ

もういい？
僕忙しいからさ

さよなら

「真犯人」からしたら
この手紙はやっかいだよねえ

あーでもキミは味方なんだっけ？

もし僕が真犯人なら味方の君は

「共犯者」ってことだよ

それが

手がかりになって

「真犯人」

捕まっちゃうたりして

堂島さんも君の

仲間達にしても二年間必死に

事件追ってきたよねえ

なのに真犯人が捕まらない

なんて可哀想だよなあ

…で？

仲間の全てを
裏切る行為

は…

ま、そんなもんか
所詮は
「ごっこ遊び」

ああ、向こうに
帰るんだっけ？

キミも

気をつけてね

今の世の中

何が起るか

分らないからさ

……さよなら

非通知

じゃ
キミも
達者で
もう切るよ

電話のむこうからは
楽しそうな
笑い声がした

だがその笑い声は
あの家で聞いた
笑い声ではなく
どこか
壊れた音に聞こえた

この選択は
駄目だった…
駄目だ…
駄目だ…
もう一度貴方に
会わなくては

切っ掛けを

貴方を救う



は…ははは

やだなあ
本当にやっちゃったよ

ねえ自分が今何したか分ってる？
証拠隠滅犯罪だよ、犯罪

これで事件は
完全に闇の中だ…
君のせいでね

分っている
この選択が仲間を…

9999

罪を犯した人は
警察が
ちやんと
見張らなきや
なあ



この番号鳴つたら出なよ

ちなみに番号

変えても無駄だから

日本の警察なめないでね

貴方を裏切る行為だという事も

世界の声に惑わされる事無く

「真実」を追い求める…か。

「真実」つてのは罪な言葉だよねえ

たった1つを指す筈なのに

誰の胸にもある、君にとっては

これが

「真実」だったわけだ



だがこの世界が終わってもあなたとの繋がりをもつにはこれしかなかった

じや、僕は戻るから
気をつけて
帰んなよ

霧とんとん
濃くなつてる
からさ…

またね

「共犯者」さん





貴方と共に



この閉じられた世界で…



罪を



罪を
背負う

消せない





電波が

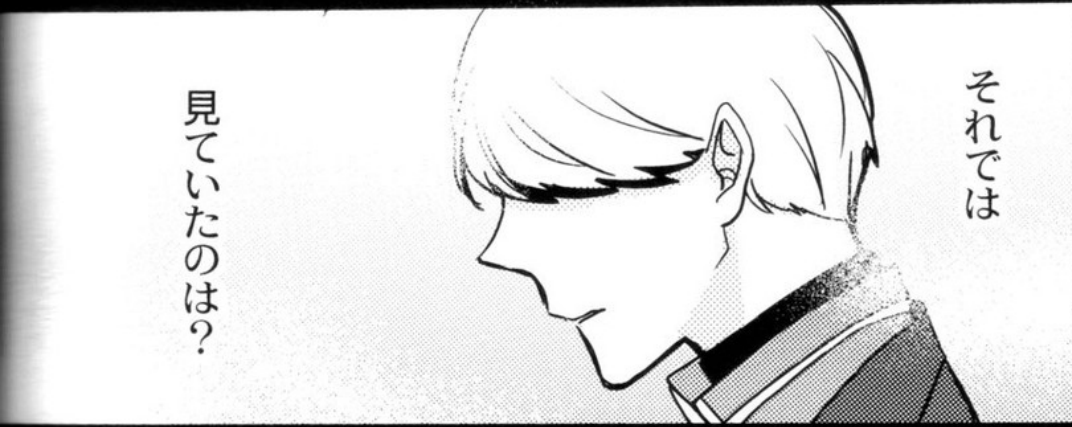
くそっ

圏外



イザナミを倒したからか?

いやイザナミを倒してからも誰かに見られている気配はあった



それでは

見ていたのは?



いや...

それより今は...



東京へ帰る電車の中で俺は自由になる

そして繰り返す
世界の中で感じていた視線も消えて無くなる



鎖された

八十稲葉羽は
完全に霧に



町から出る手段も
無く

町の人たちは
おかしくなつて
いった



足立さん

どこに
居るんだ…

事件を解決しないまま
八十稲羽に戻ると
霧が町を濃く覆い尽くしていた



…俺が
選んだから
こうなつた

俺がこの道を選択して
しまったから…



俺が世界を
霧に沈めた

あの人に
会わなくては…



会って…



それなのに…



くそ…っ

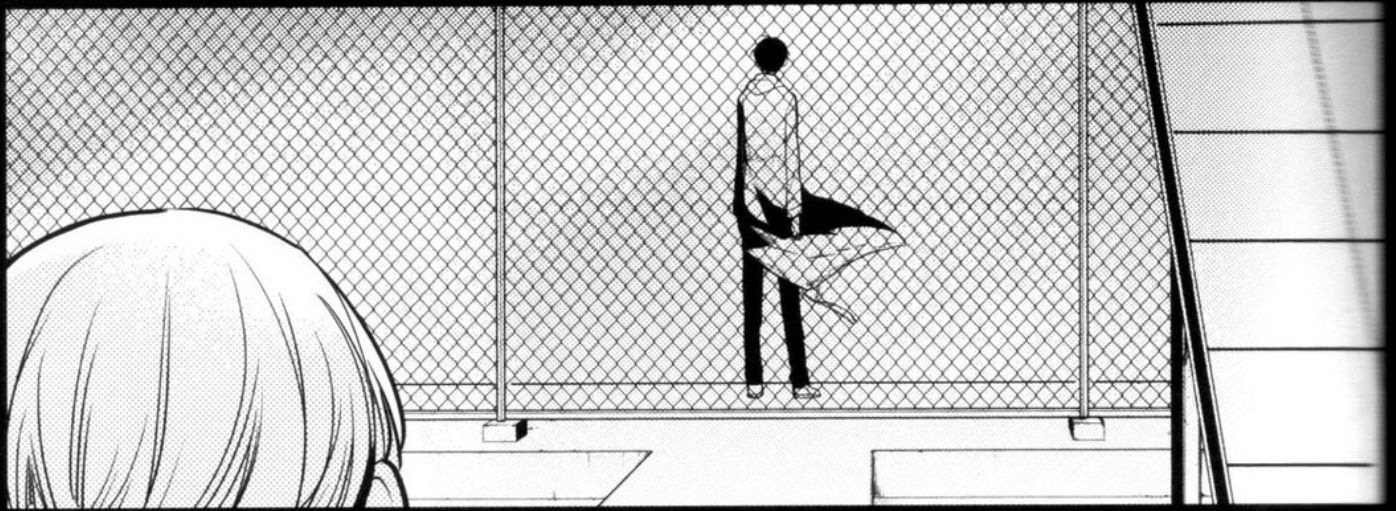
これじゃ意味がない

また貴方に届かない





足立さん？



うるさいなあ
やっと静かになったのに



足立さん！



何で君

ここに居るの



君は

東京に
帰ったはず
でしょ？

貴方に…

貴方に

会いに戻って
きました

僕に
会いに？

お友達じゃ
なくて？

見張るんじや
なかつたん
ですか

犯罪者の
俺を

警察官の
貴方が

君が脅迫状を
燃やしたのは
れっきとした
犯罪だ

だがもう
事件は
終わったんだ

真犯人は
分らず仕舞いで
町は霧に覆われて
警察署も機能して
いない

あのね

僕が君を見張る
意味はもう無いの

それなのに

わざわざ
戻って来て…

馬鹿じゃないの
君

…貴方と

話すには
あの世界が
終わった後

貴方と直接
会うには
これしかなかった



貴方は刑務所の
中で死んで
しまうから



…は？

何
言ってるの？

足立さん

貴方が山野真由美
小西早紀をテレビに
入れて

殺しましたね



貴方が
2人を殺したんだ



……ふた……り？

ああ……

二人だったね……
僕が殺したのは
ころ……し……
……二人……ああ
そうだ……

君はなに？
僕を捕まえよう
とでも？

あれは事故だよ
不運な事故だ
僕がやった証拠でも？
証拠……証拠は君が
燃やしたんだっけ？

……誰も

僕の罪を
裁けないよ

もう全て
終わった
事だ

真実は
闇の中

君が背負った
罪もこの町では
もう意味を
なさない

君が帰ってから
どんどん霧が
濃くなって

窃盗暴動警察官も
一般人もどんどん
おかしくなっていた

皆好きな様に

自分のしたい事を
してる

皆
楽しそうだよ

抑圧されたものが
溢れて自由になれたって
感じ？

君の仲間達は
町をどうにか
しようと頑張っ
ていたみただけ

無駄な努力だ
彼達の頑張りも
いずれ力つきて
この霧に沈む

後悔でも
しているの？

脅迫状を
燃やしたのを

取り返しのつかない
事をしたんだよ君は

何でだろうね？

君は僕が山野
小西早紀を殺
殺人者だと
気付いていた

なのに何で
僕を
かばったり
したんだろうね



さつきも
言いましたが…
貴方は2011年の
世界が終わった後
必ず

死ぬんです

信じて下さい
俺は世界を
繰り返しています

は？

2011年
4月26日から
約一年を繰り返して
巡っている

その世界では
必ず俺が町に
来る前に貴方は
山野アナをテレビに
落としてしまっている

止めようと
しても

止められない

どうやっても
止められないん
です

俺と仲間達は
一年を通して殺人
事件を追い
最終的に貴方を
捕まえる

町は霧に沈む事は
なく事件を裏で操って
いたイザナミという
女神を倒し

そして「真実」を
掴み町には
平和が訪れ

俺が東京へ帰る
電車の中で世界は
終わります

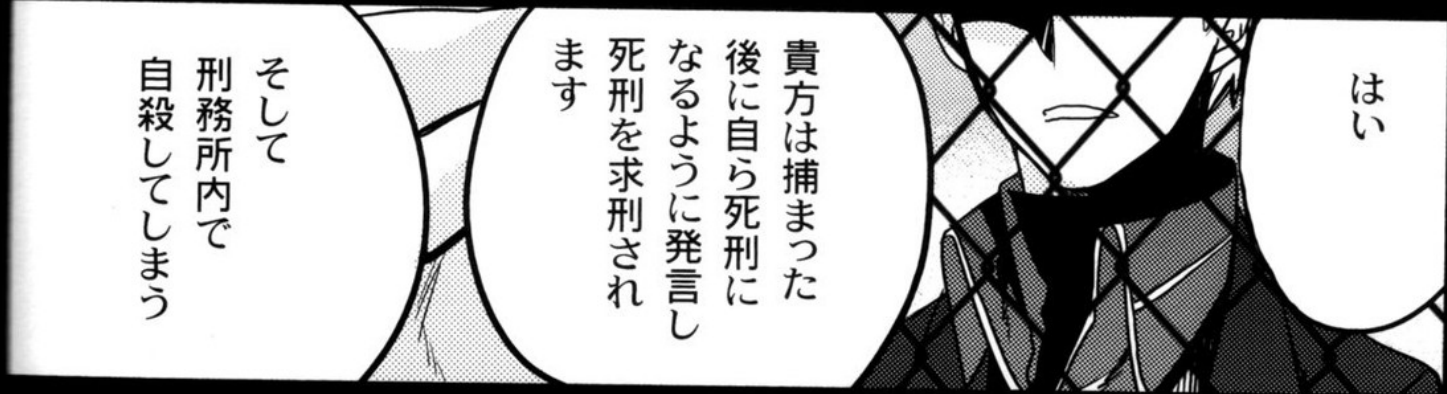
そしてその
2011年の
八十稲羽の世界が
終わった後



貴方は自ら
死を選ぶ



僕が
死ぬ？

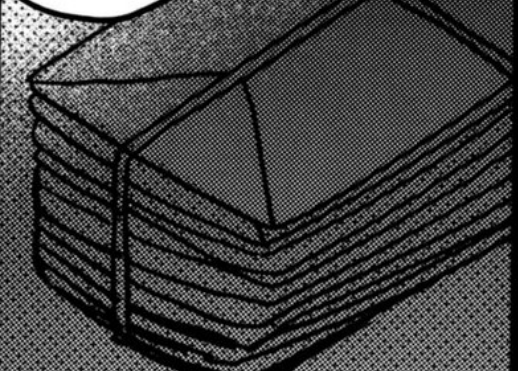


はい

貴方は捕まった
後に自ら死刑に
なるように発言し
死刑を求刑され
ます

そして
刑務所内で
自殺してしまう

俺は貴方に
何度も手紙を
書きました
死なないで欲しいと
でもそれは一通も
開封される事無く
戻って来た



直接貴方に会って
…何故…
こんな事をしたのか
聞きたかった

何故貴方は
山野アナを
呼び出して
テレビに
入れたんです？

貴方はテレビに
人が入るとは思っ
ていなかった…
なのになんで
あの日山野アナ
を呼び出したん
ですか

テレビに人が
入らなかつたら
貴方は警察を追
われていた可
能性が高い

何故…そこまで
考えが至らない
貴方じゃないはずだ
…あれさえなかつたら

君もこの
霧で頭おかしく
なっちゃったの？

それとも
ゲームの
しすぎ？

いきなり
現れて…

訳の分らない
事言い出して

脅迫状燃やした
罪悪感で頭
おかしくなった？

…どつかいけ…
僕の前から
消えろ

君と話す事
なんて何もないよ

消えません

やっと貴方との
繋がりを得て

やっと貴方に
直接会えたんです

偉

楽しかった
からだだよ

こんなクソみたいなの
田舎に飛ばされて
どうでもよくなってる
所に変な力手に
入れてさ

あの女応援して
やってたのに不倫なんて
しやがったからさ…
最初から殺してやろうと
呼び出したんだよ

動物で試した…
テレビの中に人が
入るのは知ってたさ…
死んでしまうのも…

貴方が山野真由美の
死体を見て吐いたのも
あれは演技だったと？

死ぬとは思って
いなかったのに
死んでしまった
事への罪悪感
からでは？

…
あ？

楽しかったと
言いましたが
本当ですか？

貴方は
本当にこの連続
殺人事件を心から
楽しんでいた？

俺には
そうは
見えなかった

世界を何回も
巡って貴方を
見て来た

死体を見て
吐いたのは

菜々子が
テレビに映った
後送って来た
脅迫状は

足立さん！
貴方は！

違う

違う

僕は楽しんでた
このゲームを

最初の山野も
殺してやりたいって
思って殺したんだ

吐いてみせた
のも演技だよ

堂島さんも
いたし犯人って
疑われない様さ

上手かったでしょう？

何を勘違い
しているのか
知らないけど

何？それで
僕をかばった
とか？

この人は本当は
いい人だつて
思って同情でも
した？

残念

君がかばった男は
凶悪な殺人者

自分なら
この人を
救えるかも
とでも思った？

僕の本心
なんて何も
知らない
くせにね

…だから…

だから…

だから俺は
貴方を知りたいと
何度も…っ

何度もっ！

…
それで

何度も
僕に話しかけて
きてたの？

僕が本当の
事を言っ
たとしても

それは
君が勝手に
僕の事を
分ったつもりで
いただけだよ

僕に本当の
事なんて
何一つ無い

嘘ばかりさ

僕と君とが交わして
いたのは偽りの
繋がり

嘘だ

.....

嘘だっ！貴方は！
貴方は嘘だけじゃ
なかった！
偽りだけじゃなかった

貴方が！

貴方が手紙で
くれたんです

楽しかったって！すぐには気付かなかった
けれど！あの家で菜々子堂島さん俺と
過ごした時間は楽しかった事だっ！

貴方は全て
嘘なんかじゃない！
笑っていたでしょう
あの家で

菜々子と一緒に
居た貴方は優しかった…
それは嘘じゃない
でしょう？

相棒として
堂島さんを
慕っていた
でしょう

やめろ

貴方が俺に
聞かせてくれた事が
全て嘘だったなんて
思えない

貴方があの家で
堂島家で見せた
笑顔が…

あれが嘘なんかで
終わらして欲しく無い

楽しかったんだ！
貴方はあの家で！

堂島さんと菜々子
貴方と俺4人で
困んだ食卓

貴方には帰る
場所があるんだ

やめろ

だから
お願いだ！

あの世界が
終わった後
死んだりしないで

覚えていてくれ！
足立さん！貴方には
帰る場所がある！

…やめろ…

だまれ…
うるせーんだよ

足立さん…

信じてくれ
俺は貴方にもう死んで
欲しく無い生きて欲しい

やめろよ…

…黙れつて
言ってる…

足立さん
覚えていてくれ！
やっと直接貴方に
言えたんだ

俺はまた世界を巡る！
だから！
覚えていてくれ！

俺との繋がりを！
俺の言葉を！

貴方には
生きて帰る
場所がある！

…おせーよ…

全部おせーんだよ

覚えてたとしても

お前の言ってる事は
頭のおかしくなった
ガキのたわごとだろーが
もしそれが本当だとして

もう終わった
事だ

終わってない

俺が願ったら
世界は巡る
もう一度
やりなおせる

やり
なおす…

君の妄想が
本当なら

何度
繰り返しても
僕は殺人者
なんだね

きつと
そういう風に
決められて
いるんだろうね

だったら
もう…

諦めて
くれない
かな

君が願わなければ
世界は巡らなくて
済むんでしょ

こんな
終わりじゃない
ハッピーエンドが
あるんだろ？
だったらそれで
いいじゃないか

悪党の殺人者が
死にました
それで世界に
平和が訪れた

めでたしめでたしだ
僕が死んでも
君に何の迷惑も
かからないでしょ

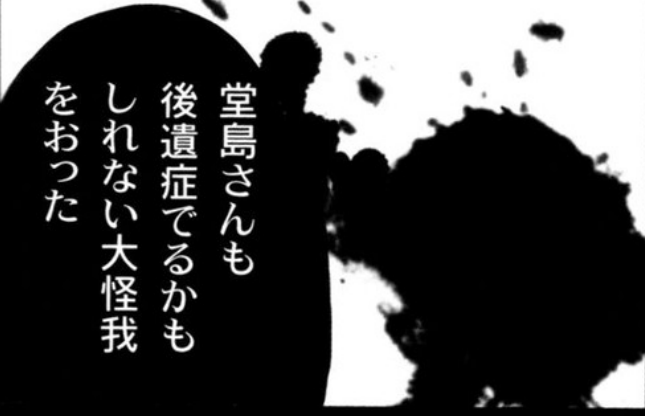
むしろ
喜ぶ人の方が
多いだろ被害者
家族大衆マスコミ
きつと皆僕の死を
望む筈だ



僕のせいで
仲間が
危険な目に

菜々子
ちゃんは
一度死に

君も僕が
憎いでしょう？
殺したくないの？



堂島さんも
後遺症でるかも
しれない大怪我
をおった

憎みこそすれ
君が僕を救いたがる
意味が分からない



全てを
裏切って迄



.....
貴方が死んだら
菜々子とおじさんが
悲しむんです



.....
違っね

君は

自分の為に
僕に死んで
欲しく無いんだ



君は自分が
僕を捕まえた事で
結果犯人が死ぬのが
嫌なんだ

罪悪感を感じて
いるんだね

そんなもの
感じなくていいのよ

捨て置けば
良いんだよ

自分達が捕まえた
人殺しが死にました
よかったよかった

それで話は
すむはずなのに

きっと君は
お優しいんだろうね

だから全てを
救いたがってる
君の中の
美しい世界を
守る為に

自己満足だ



正義の
ヒーローさん
全てを救うなんて
出来やしない

この世界

勝者が生まれれば
敗者が生まれる
神様だって全ては
救えない

僕を救いたいって
言うけれど…じゃあ
あの少年は？
僕のおこした事件
まねて殺人起こした奴

あいつは救わなくて
いいの？僕が殺人を
おかさなかつたら
彼は鬱屈とした性格だけど
人殺しまではしなかつた
んじゃないかな

僕はね君が
人と関わり繋がり
持つていくのを見て
思つてたんだ…
重くないのかなつて

もしその人の
奥底に

君が想像もしない
モノがあつたらどうする
んだらうつて…汚くて
おぞましいこんな人とは
思わなかつたそんなモノがさ

君のその

妄想の話が
本当なら
教えてあげた
方がいいかな

可哀想な
お優しい
正義の
ヒーローさんに



僕がどんだけ
救えない奴かさ



諦めやすいだろ



そしたら
君も

.....
う
う



あだ...ち

な...やめっ

おめちんごしんご

僕よく
上手だねって
言われて
たんだよ

君みたいなの
若い子なら
1回イっても
すぐに元気に
なるでしょ

1回口で
イかせて
あげるね



ん

130
130

130
130



っあ

見て

凄く出た
気持ちよかった
でしょ？

くっく



もつと
気持ちいい事

してあげる

僕の事知りたいって
言ったっけ？

僕との繋がり？



らっよお

目に見えない
繋がりより
もつと分かりやすい

僕との繋がり方
教えてあげる



君さあ
その顔だから
女の子とはもう
ヤッてるだろ？

なら男とは？
あのジュネスの
子とかさあ

花村とは
友達だつ！
そんなこと

…ふふ

ごめんごめん
怒った？



僕はね…

男が
好きなんだ

今迄色んな
男に抱かれて
きたんだよ

警察つてエリートでも
上上がるには
上司の機嫌を取ら
ないとすんなりは
上がれない

地位のある奴つて
結構そういう趣味の
奴が多くてさ身体使つて
股開いてきたんだ



色んな奴を
利用してきた

色んな
事をしてきた

そんな中に君を
入れてあげるよ

気持ち
悪いでしょう？



君が想像もしない
出来ない様な事をね…



ほり入るよ

やう
やめ

おつきこ
……

はあ

君の凄くおつきこ

若いし

硬いし

女の子と
比べてどう？

最高

僕のお尻

……



ほら

気持ち
らこでしょ

動くよ…

っあ

っくっ

っあ

はっ

はっ

…っ



あだ…ちさ

…っあ

…あ…っ



いいよお
出しな

僕の
尻の中に

君の
汚いの全部
ちょうだい

っくっ
ふうっあ

あっ

ぶっ

あっ



……



はっ

僕はね……



お前なんか
救ってもらおうと
なんて
思っていない



言っただろ
もう遅いって

何も知らない
クソガキの
お前に僕の
何が
救えるって？

僕が何を考えて
何をして生きて
来たかも知りも
しないクソガキに
同情されて



共犯者？

たかが脅迫状を
燃やしただけで
僕と対等に
なったとでも？



おごるなよ
クソガキ

そんなもので
共犯者なんか
になれるわけ
ないだろ



俺と
お前は
違う



そう

違う



人を殺した
事も無いくせに



背負う罪が
同じになるわけ

ないだろう？



…だ…ち…



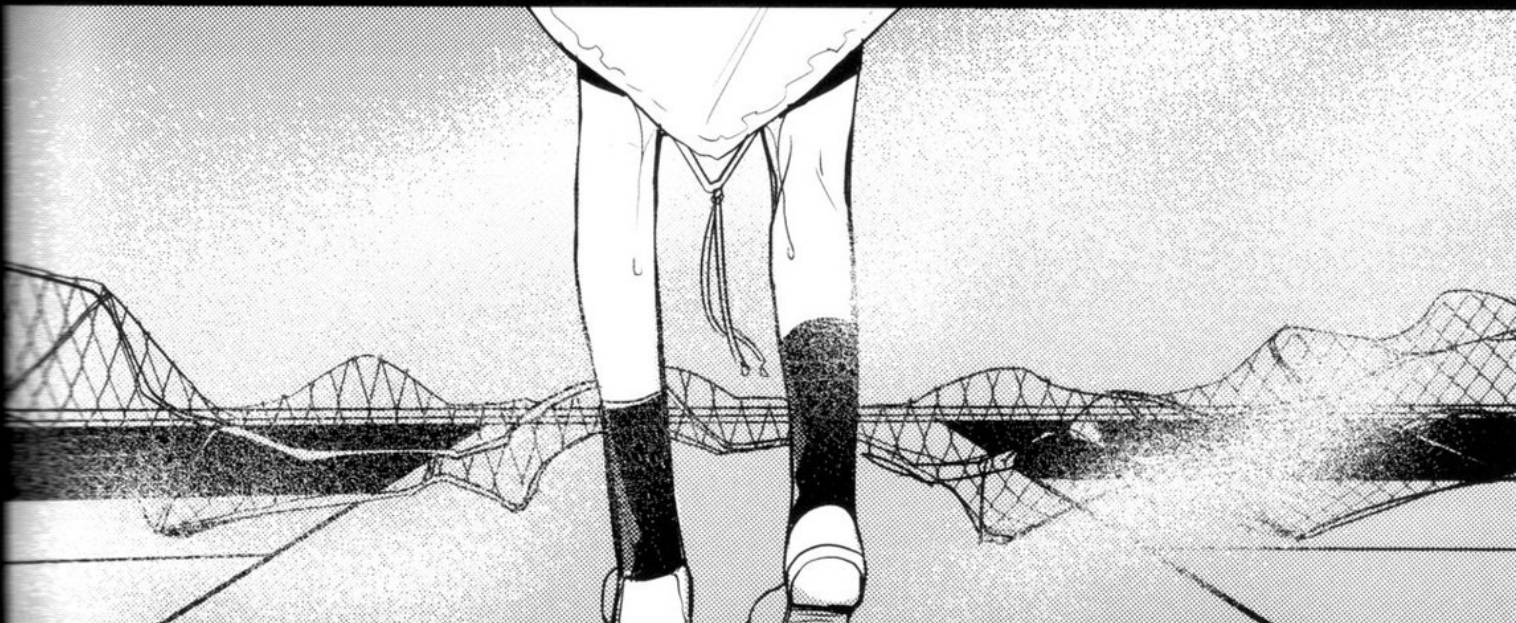
あ…だち…

や…



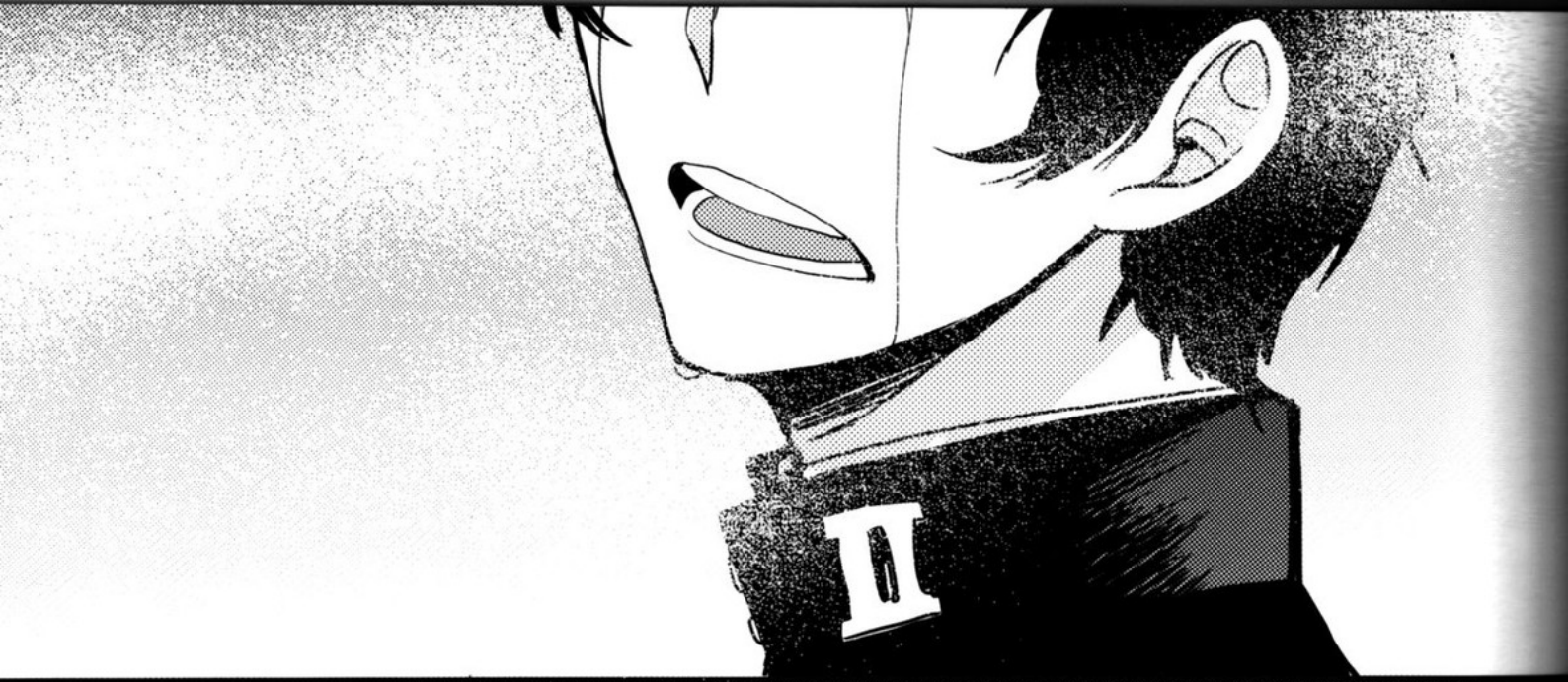
…

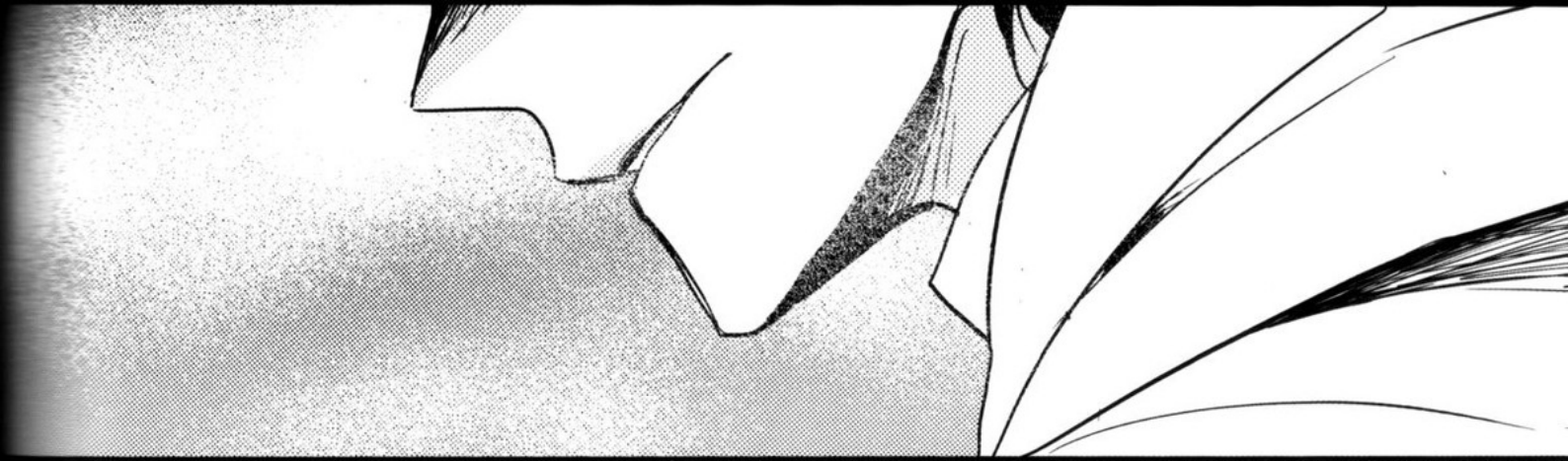












なんてだ

.....
.....
.....

なんて…

足立

さん…

貴方はいつも
骨になつて
帰ってきていたから

貴方の
死に顔は

この時初めて
見た

足立さんの
死に顔は

どこか嬉しそうに見えた

なんで…

足立さん

酷い…

貴方は酷い…

俺に酷い事言つて
酷い事を強いて

一人でまた
勝手に居なくなるなんて

貴方は
助けてって…

幻なんかじゃない

あれは

違う

霧が見せた
幻？

助けを

貴方は助けを
求めていた

俺は…こんな
結末は
嫌なんです…

諦めて
くれない
かなあ
自己満足

自己満足で
あっても…

俺は…



貴方に
生きていてほしい



足立さん

貴方に
生きていて
欲しい

一緒に…
生きて欲しい



繰り返す世界は
決められている…
だから覚えて
いて…

俺を
拒絶しないで

貴方を救う
切っ掛けを
くれ…



一緒に

また…あの
家で…食卓を
囲みたい

足立さん…
お願いです…

覚えて
いて下さい

お願い

貴方には
帰る場所が
ある

帰りがたかったんじゃ
ないんですか
手紙に楽しかったと
綴ったあの家に

どうか

覚えていて

貴方を諦めたく無い



貴方はある時から

君さあ

僕によく
話かけて
くるけど

お友達は？
僕なんかより
お友達と遊びなよ

俺は…
足立さんと
話したいんです

色々…

話が
したい

君みたいな
子が…

僕なんかと
話したって面白く
ないでしょ

そんな事ないです
足立さんと一緒に
いるの楽しい

ふーん

貴方の方から
俺に踏み込んで来て

だったら…

今度さ

うちにご飯
作りに来てよ

うちだったら
ゆっくり
出来るからさ

利用しようとする様になった

よろこんで

はい

菜々子
ちゃんも
堂島さんも
いなくて

1人で家に
居るのは寂しい
でしょう

一緒に
いてあげようか？

あの事が…

記憶は
無くとも刻まれている？

嬉しいです

はい



貴方に俺を
刻み付けよう

それならば





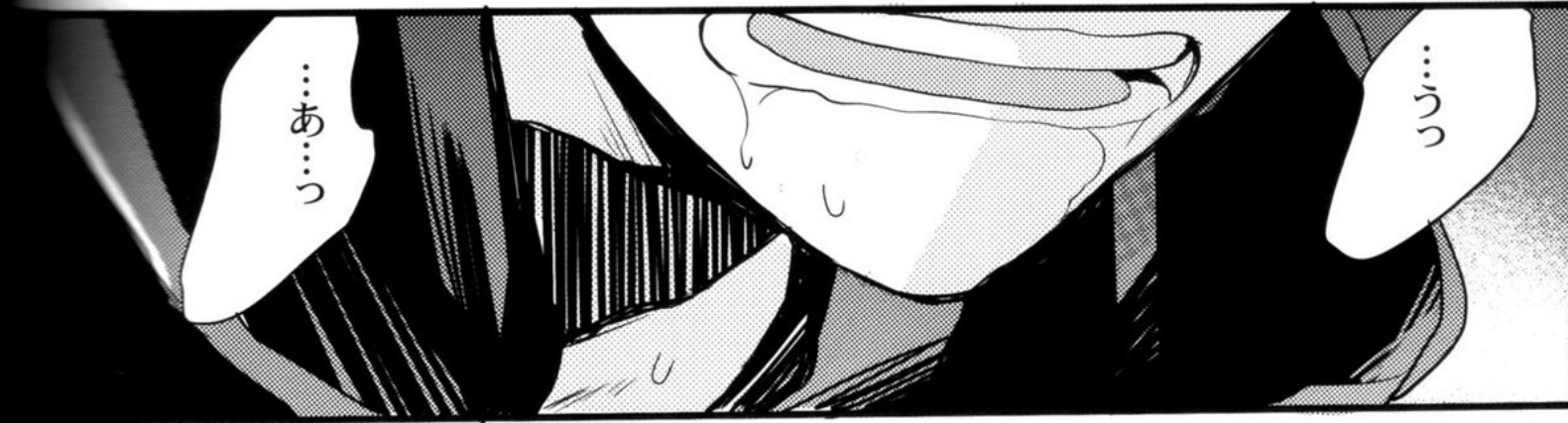


…あつ

あつ…あ…

はあ

ああ



…あつ

…あつ



カッ

…ん…ん…ん

グ
グ
グ



足立さん

お尻
もっと上げて

はあ

はあ



…あっ
…ひっ

…あっ
…ひっ

…ひ



…あっ

…あっ…っあ…



腰浮かせて
足立さん

ほ、ほ

ほ、ほ

しゃがんで

あ、あ

ちゅ

あ

ううう

好きです

貴方に刻み
付ける
それが
嘘の言葉でも

足立さん



貴方がこの
世界が終わっても
生きてくれる様に

愛しています

愛しています



貴方を必要とし
いる者がいると



ふ
〜
ふ

何故

こんな…

フ
フ





くしゅっ

それなのに

貴方を知る度

貴方に絡めとられて
いく様で

貴方の中に
垣間見える

孤独な魂に

いつの間にか

惹かれて

いった



貴方が好きです



貴方に生きて
欲しい

足立さん
今日お誕生日
でしたよね

お誕生日
おめでとう
ございます
これよかったです
貰って下さい



有り難う

大事に
するよ



さっき
してる時

僕の事もっと
知りたいたって
言ってたけど
本当に
知りたい？

…俺は

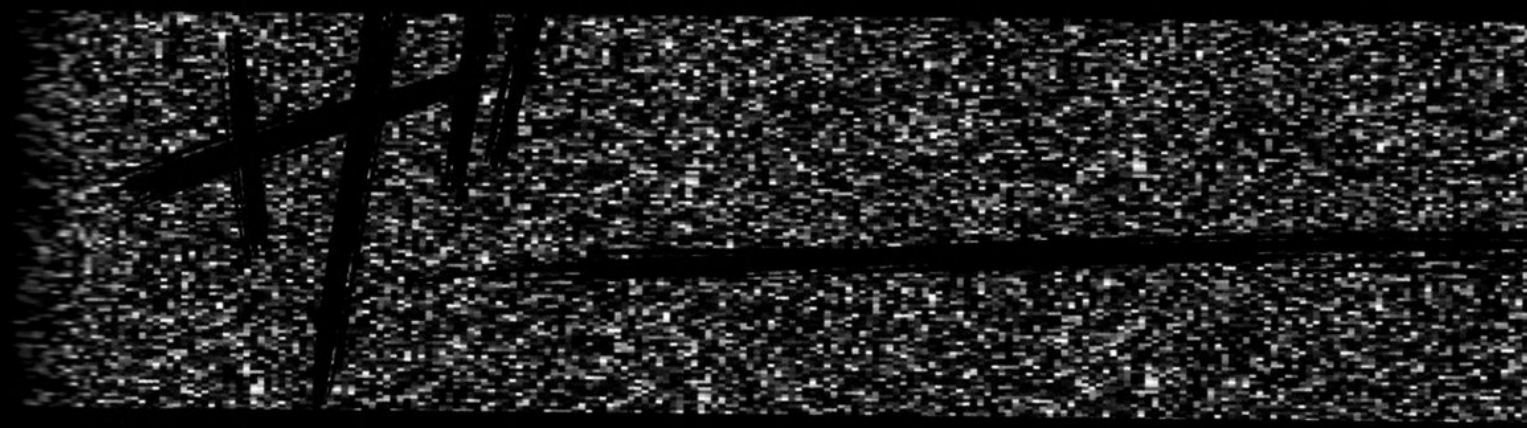
足立さん

貴方が
知りたい

さう

だったら今度
一緒に僕の
中学時代が
写ってるビデオ
見てみる？

大分古いから
すぐには
見つからないけど
探せば
見つかるから



あ
終わった？



それとも幻滅した？
中学時代からこんな
ビデオに出てるなんて
…てさ

汚いって思った
だろ？君さあ
僕の事好きだって
言うけど何をもって
好きって言うの



どうだった？
僕の中学時代
興奮した？



僕の事何も
知らないくせに

一時の感情で
共犯者にまで
なっちゃって

俺を見張るん
でしょって

君が東京に
帰った後
すぐにこっちに
帰って来て好きです
一緒に居たいって
言った時は

まあ面白いし
いいかなあつて
思っただけど

もういいよ…
君いらないから

誕生日に
マグカップねえ

一度
壊れたからつて
またくれちゃつて

おままごとなんて
もうたくさん

僕と共犯？
調子に乗るなよ
クソガキ

共犯なんか
なれるわけ
ねーだろ

僕は人殺しなんて
してないよ

君が勝手に
証拠品燃やして
犯罪者になったから
刑事として
見張つてるだけ

でもそれも
もう飽きちゃつた
んだよねえ

もう好きにしな

君との
繋がり
は
これ
で
お
し
ま
い

ゲームオーバー

足立さ…

終わりだよ

この町は
もう少いで
終わる

霧が
どんどん
濃くなってるの
分るでしょ

君はすぐに
東京へ
帰りな

…なら

足立さんも
一緒に

…聞き分けない
子だねえ

行ける訳
無いでしょ？
仕事があるのに

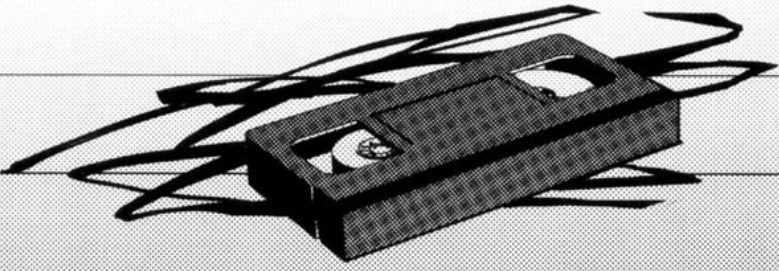
いいね…明日だったら
まだ電車も来る
だろう

足立さ…っ

これは
お願いじゃ
ないよ

命令
それじゃ

さよなら





貴方に
どれだけ
想いを
刻み込んでも
駄目だった

どれだけ
想いを注いでも
壊れた容器に
水を注ぐ様で

貴方は…
壊れてしまつて
いるのか

俺と出会う前から

あなたが知りたい

貴方の過去が

知った所でお前に救えるとでも？

それでも

俺は

貴方に生きて

笑ってほしい

もう

1回だ

そして
ある時
それは
起きた

お世話に

なりました

稲葉線
八十稲羽

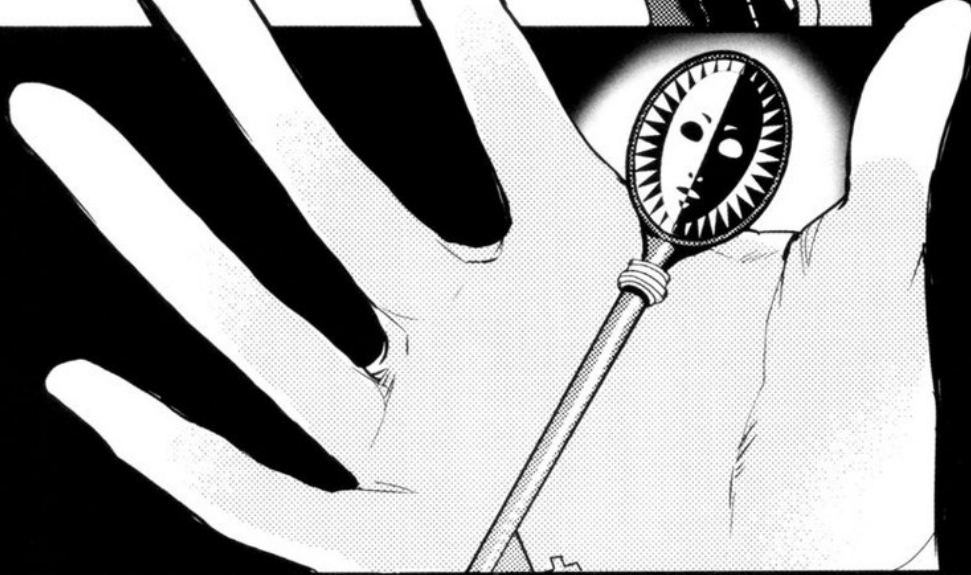
おい
どうしたっ!

奇跡が





事件が起きる前の八十稲羽



貴方には

特別な力がある
特別な定められた道が
だが貴方は今
自らの持つ道を
己の持つ力で変えようと
しておられる

世界を巡るうちに
貴方は様々な
世界の因果を集め
己の中に様々な神々を
住ませ具現化させてこられた

世界を変え
時を越える
能力

到底人間では及ばぬ力です

己の望む物を得る為には
捨てねばならぬモノも
出て来るでしょう

それでも貴方は

世界の変革を
望むかしら

望む

望むさ

誰が創った
世界か
知らないが

こんな
世界

人が死に
事件が起きて
最後にあの人が
死ぬ世界なんて

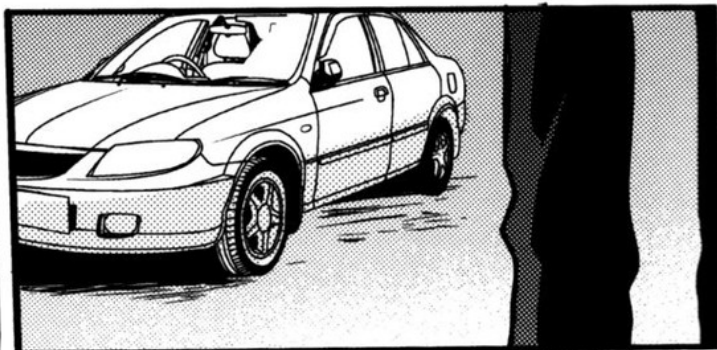
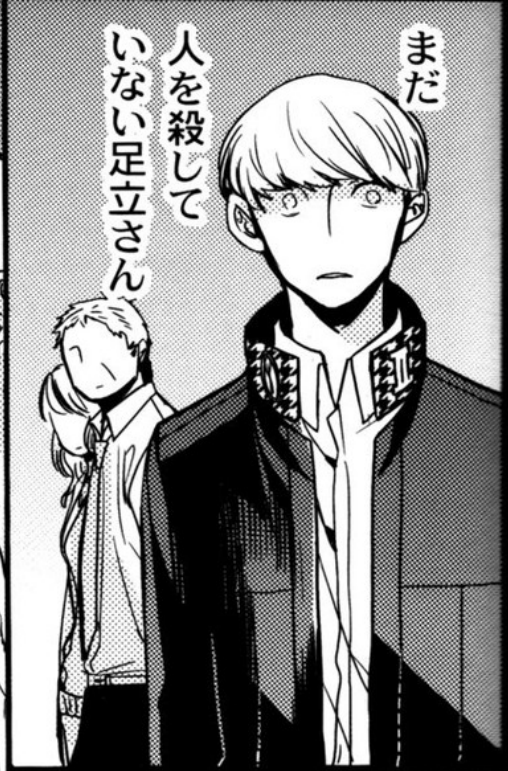
俺が
変えて
みせる

どんな
代償を
払おうとも

あの人を
救ってみせる

天城屋旅館







誰かが決めた
世界のルールを
ねじ曲げ殺人を
犯す前の貴方に
出会った



足立さん



足立さん

その人を…
落としては駄目です

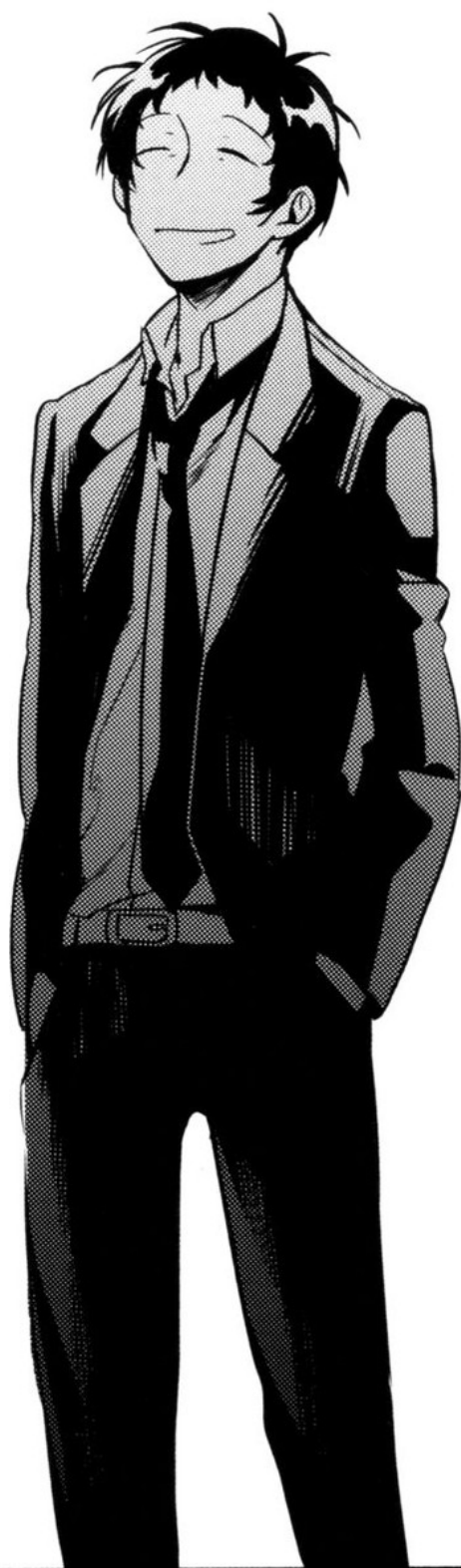
駄目ですよ

貴方に生きていて欲しい

貴方に笑っていて欲しい

貴方に幸せになつてもらいたい

貴方と共に歩いていきたい





貴方の心の深淵で

その願いが

どれだけ
届かない
願いかを

俺は知る





すいこ

ハキ

すいこ

ハキ

褒めて
あげるよ

よく
ここまで
登れたね



大丈夫？

壊れて無い？

よかった

ここで君に
壊れられたら

本体起こせない
からさー

早く僕を
この世界から
消えさせてよ



この人を
救う事は
出来ないのか

まあ
無理だね

昔だから

こいつが最初に
壊されたのは

全

終わった
事だ

さあもう
いいだろう？

こいつの事
知れたん
だから

早く起こしてよ
この世界に生身の
人間いたら

ほつといても
死んじゃうよ

……早く

あつ

ねえ…早く

僕をそいつの
中に
入れさせて





やめない

やめろ!

アッ!?



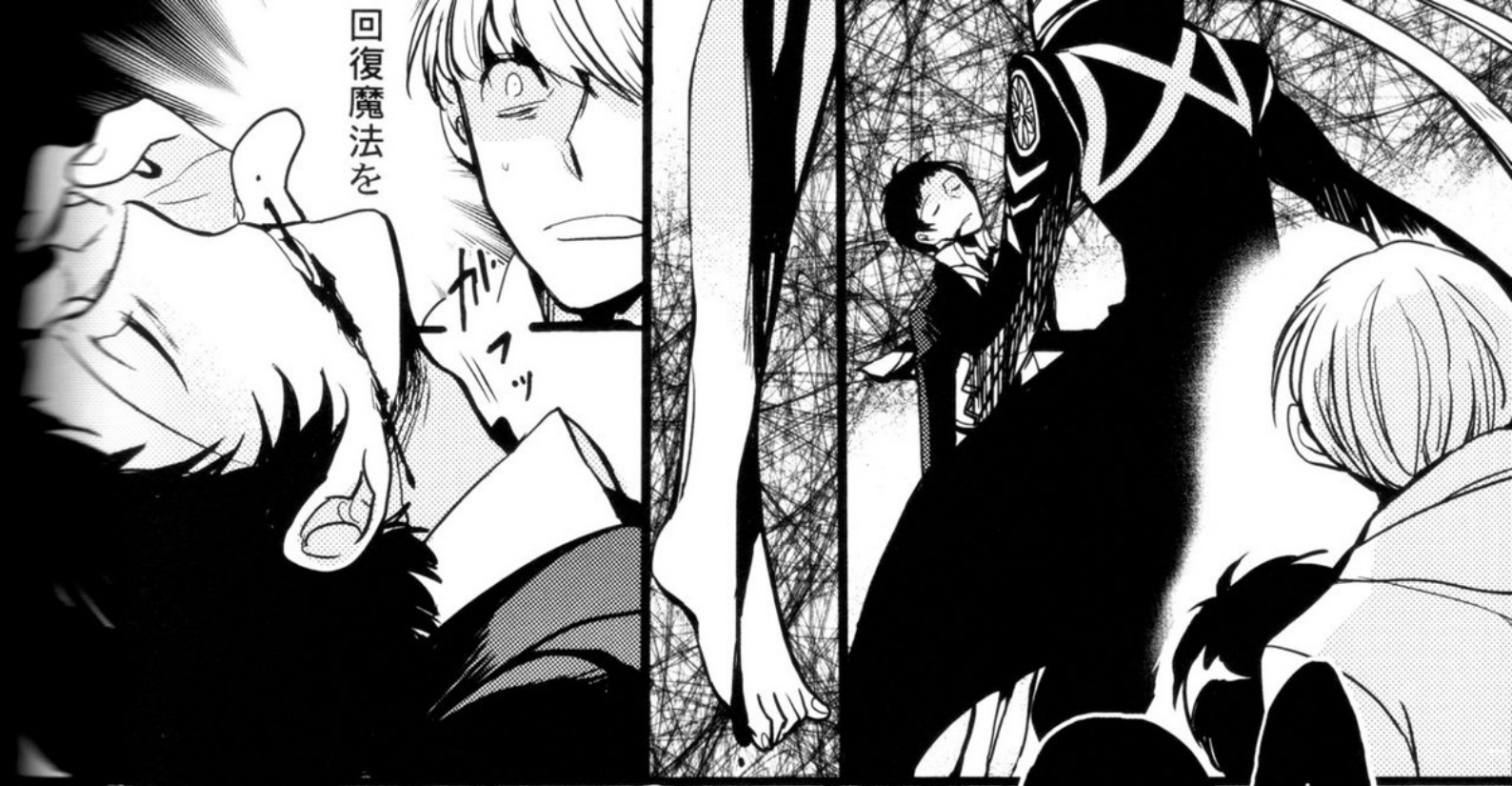
なっ!?

自分から

消えるん
だったら

方法は
何でもいんだ

回復魔法を




よけ...いな...
こと...する...な...




やん...ん...






はな…まる…あげる…




きみは…つよい…か…ら…
たたかっ…てもかて…ない…
わか…る…だか…ら…
りよう…させてもらっ…た…よ…

ひとの…ころの…おくそ…
にかつてにはいつてきた
ことを…こう…かい…
して…こいつ…の
なか…でしんで…いきな…

きみ…には…わるい…
け…ど…ぼく…が…
きえた…ら…ここ…からは…
でら…れ…ない…



ほんたい…には
ほく…からの
おくり…
も…のだ…



この…くそ…みたいなの
世界から…きえる…
きっかけを…あげる…



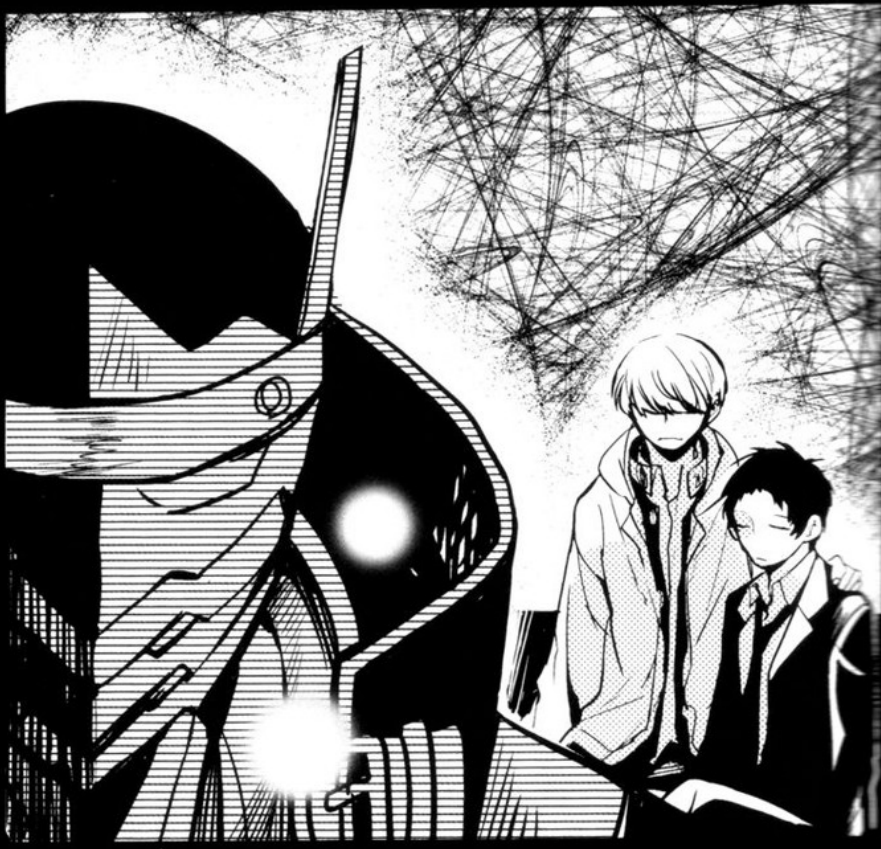
それ…じゃ…
お…さまに…



およなら




貴方は…シャドウですら笑いながら消えていく



足立さん…




貴方は…人を
殺した事も無い俺が
貴方と対等には
なれないと言っただけ
俺は…



何度も
殺して
いるんです

貴方を…世界を
何度も殺している

巡る世界俺が望まなければ貴方は



貴方が望むまま死に消えていける



だが

それでも
俺は…

貴方を
諦める事は
出来ない

もう一回



いぬなれ...



世界は繰り返しながら変化し続けている

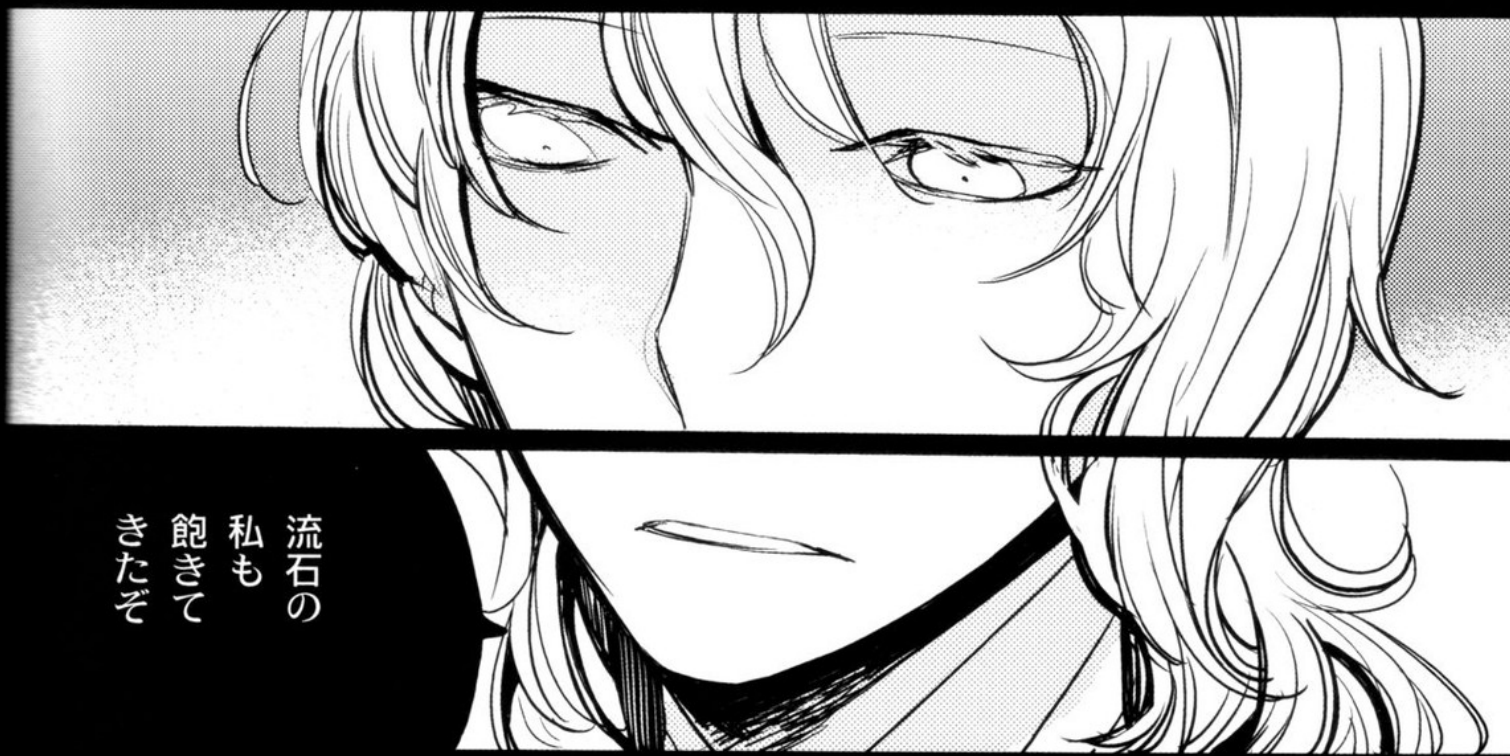






希望よ

まだやるのか



流石の
私も
飽きて
きたぞ



……

だったら

人間達は記憶を
持ち越さないが
私は違うんだ
付き合わされる
身にもなってくれ



後何回
繰り返す
つもりだ？

希望よ
お前がやめない
限りこの世界に
終焉は訪れない

あの人に
力なんて
与えなければ
いいだろう

それは出来ない

元凶だと
思っていた
ようだが

お前は
私がこの世界を
回している

それは違つと

もう気付いているの
だろう？

お前は
この世界では
特別なのだよ

この世界は
まさにお前を
中心に回っている

行動し
選択し絆を
育み世界を
救う

この世界は
そういう風に

出来ている



私は虚無がこの町を
訪れた時に力を
与えるが

それも

そういう風に
出来ているから

虚無に
力を与えるとき
加減を間違えて
しまうのもそう
出来ているから

虚無が精神的に
不安定になる事で
人をテレビに
落とす為に



虚無は

いわゆる

この世界が回る
為の最初の鍵だ

虚無が

人をテレビに
落とし人を
殺さなければ

この世界は
人の世界の
時間軸に
ポツカリ出来た
箱庭の様なもの



この世界は
始まらない

箱庭から出て
お前はそのままの
時間軸を生きる
事が出来るのに

お前は必ず
また世界を
繰り返す為
戻ってくる

何度も

何度も

まるで
ゲームを繰り返す
かの様に

決められていること

神とて抗う事
出来ぬ力

この世界に
おいては私と
ゲームのコマ



希望



絶望



虚無



お前達に
因子を与え

力を授けたのは
私だが

その因子の根は
町に来る前に
出来ていたもの

お前達人間が
歩いて来た
時間：

人生の中で
結果として
育まれた
因子

虚無
絶望
希望

それらは
この世界には
必要不可欠な
事柄だ必要な
事だったのだろ



あんな事が
必要だった
だど？



必要？



言っただろう
虚無は特に
この世界の
鍵の様な存在だ

虚無が
虚無でなければ
この世界は
立ち行かなくなる



虚無の人生の中で
培われた虚無の闇が
私の与えた力によつて
揺さぶられ溢れる

その結果
人をテレビに
落とすのだ

そして
この箱庭の
世界が終わつた
後

虚無は
己が内の虚無の
闇に飲み込まれ

消えてゆく



私も抗って
いるのだよ



お前が世界の呪縛に
抗いほどいている
今はこの様に
自由に話せているがな

それでも
今だこの世界の
道筋を変える事は
出来ないか

まだ
抗うか？

お前の
強い想いから
世界は
変化している


だが自分でも
気付いている
のだろう？
このまま続ければ
どうなるのか





それでもまだ


世界を
繰り返すのか？



時間
干渉は
神でも
難しい
事だ

今のお前なら
この箱庭を
抜け出し

新たなる世界へ
いけるかもな

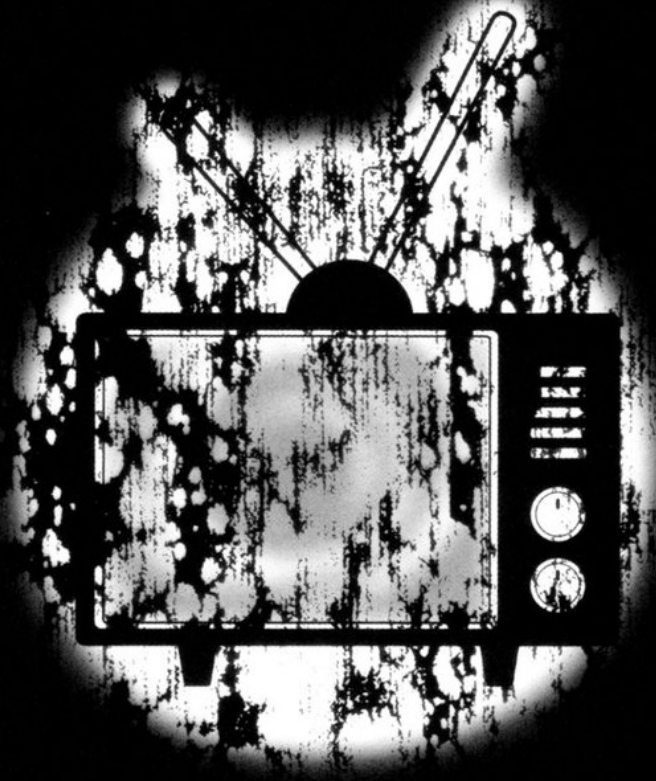


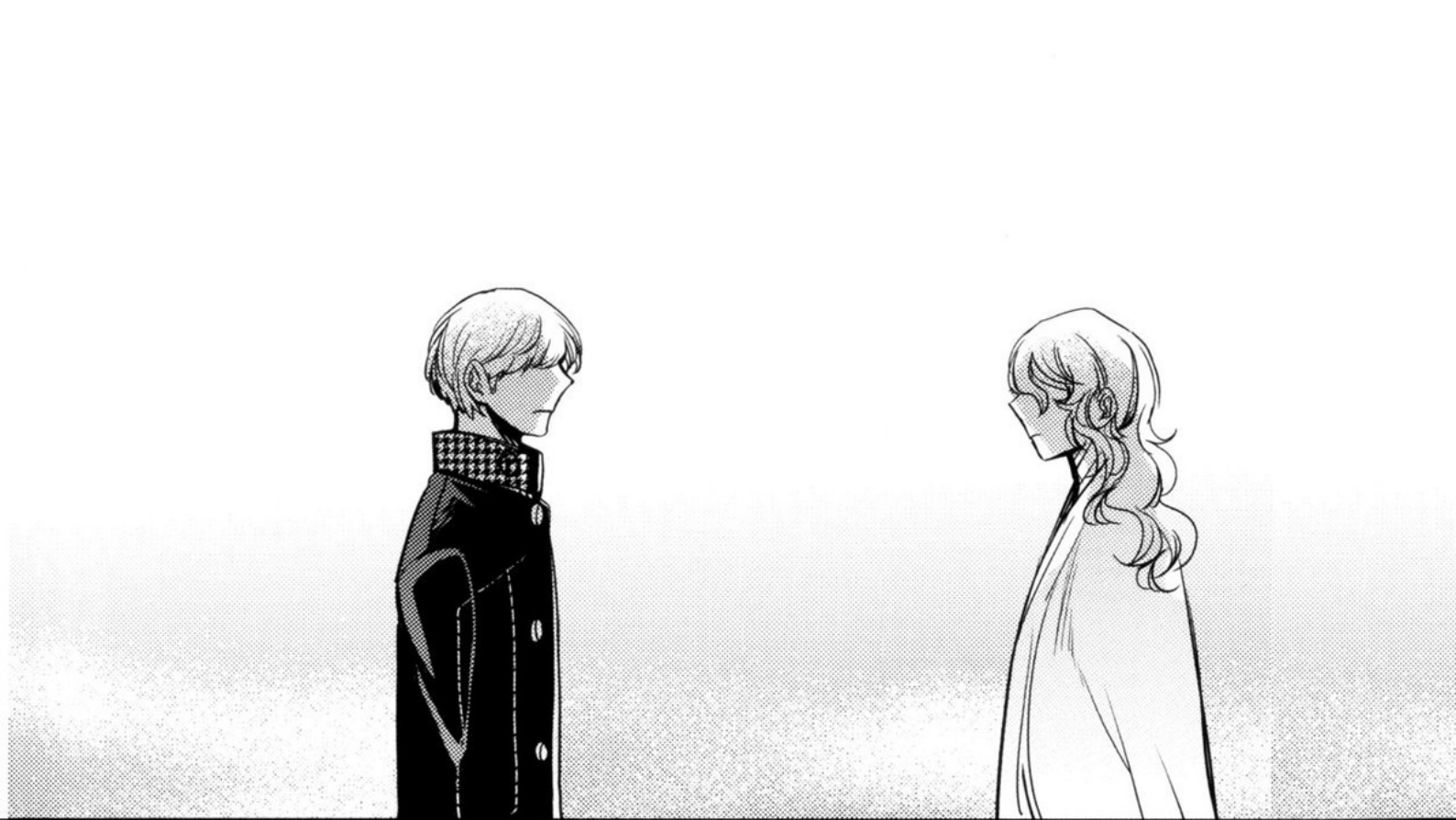
この誰かが
創りし世界を

お前も誰かの
目線を
感じて
いただろう？

この世界を
楽しんでる
者がいるんだ

沢山の目が
見ている…





己の胸に
ある希望を
信じて進んで
ゆけ



この世界を
出て…別の世界も
見てみたいと
思っていた

人の子よ
可能性の子よ



神のご加護に
握手でもするか？

ふふ
つれないな

足立さん

俺は貴方と生きていきたい





お腹空いた…



どうせ
捨てるし…

帰れば
ご飯あるけど
帰りたく無い…



…



ぬすん…



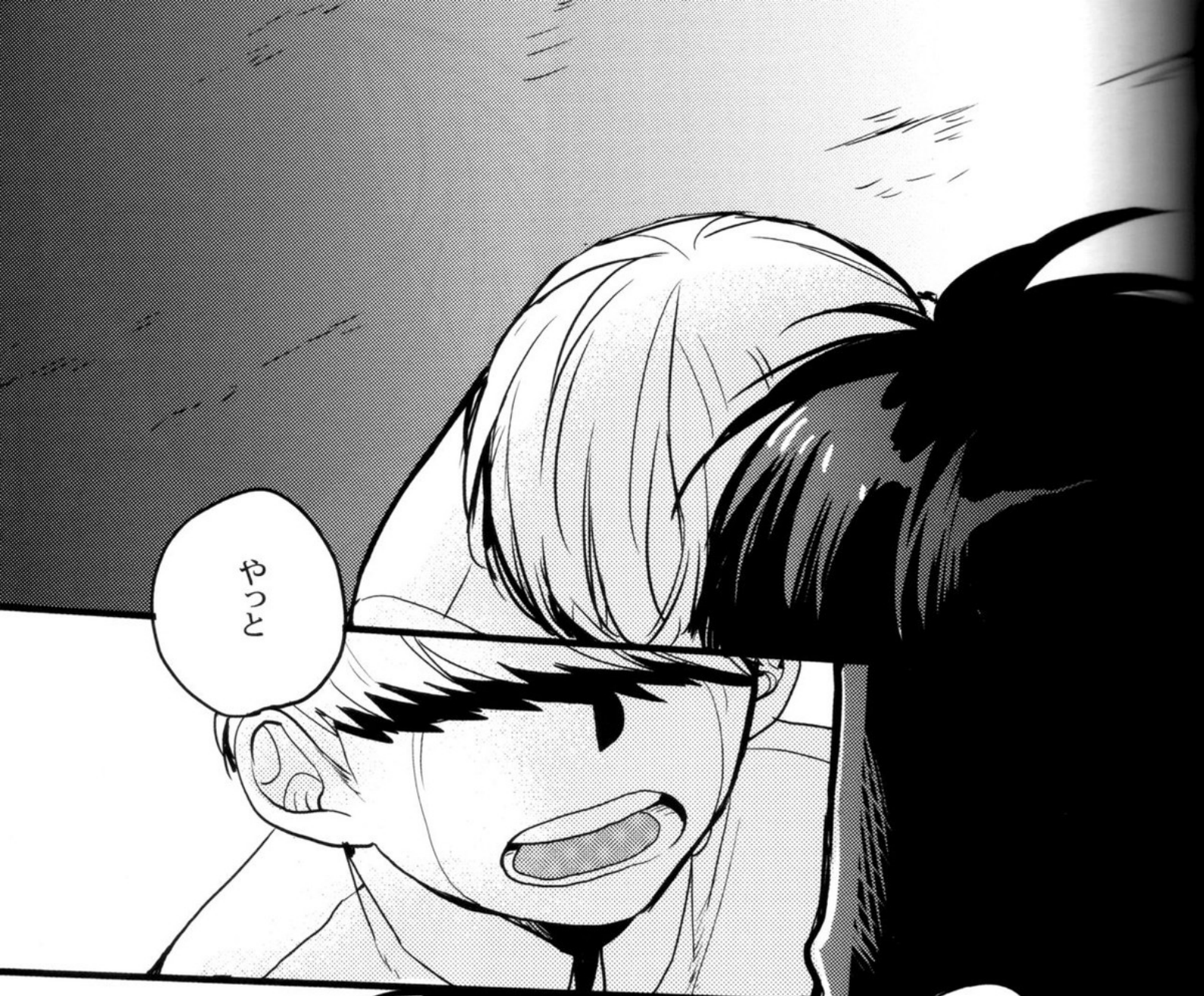
え？

子供？

え？

まじで……昔話？

なんで
こんな時間
公園に子供





おっちゃん



貴方に

届いた

握った十四歳の貴方の手は

二十七歳の
貴方の手より小さくて
とても冷えきって
冷たかった

でも

たしかにそこに存在して

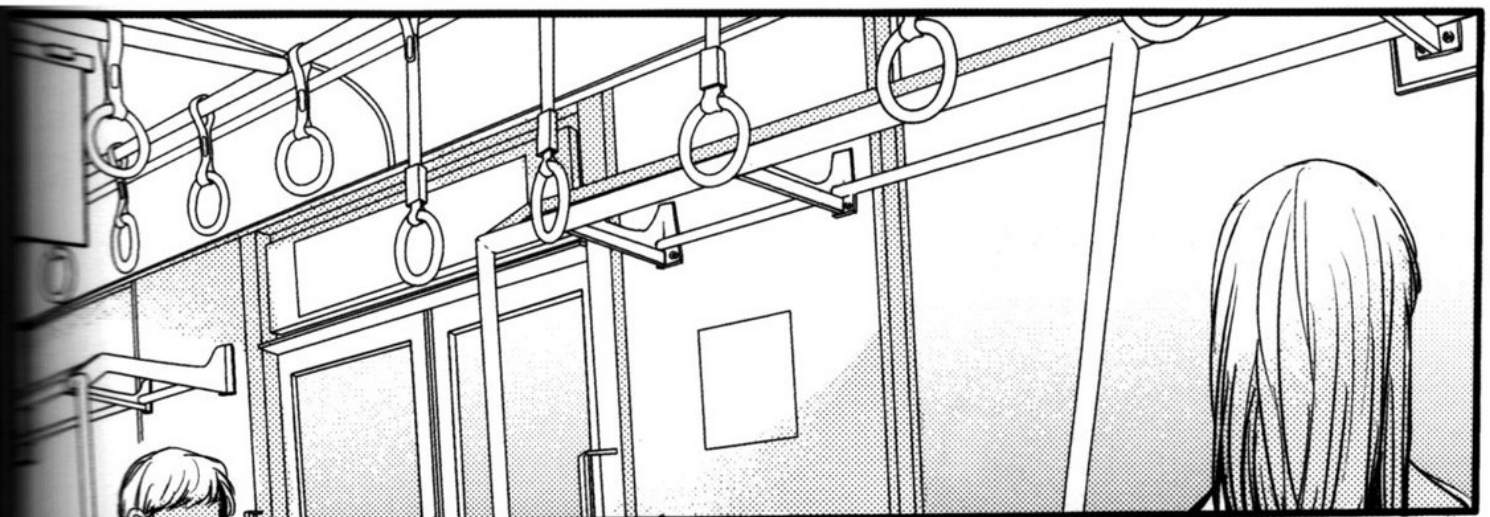
生きていてくれる事に

涙がとまらなくて

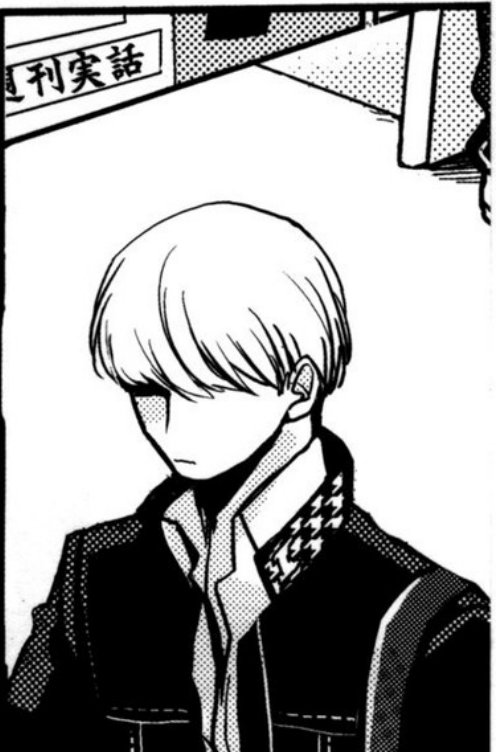
やっと届いた手を
話さない様に

必死で握った





女子アナウンス
のお相手は
議員秘書！
ハスメ専門料理





おい
こつちこつち



やあ待ってたよ



遠くから
お疲れ
さま

迎えに
来て下さって

有り難う
ございます

堂島さん仕事の
呼び出し
入ちやつてさー

僕が代わりに
来たんだよ

あはは
緊張しちやつてる？

大丈夫だってー
どうしたのー

このお兄ちゃん
黙ってたら見た目
冷たそうに見えるけど
優しいからさ

僕が
保証する

堂島：
菜々子です

初めまして

初めまして

それじゃ
車乗って
家送って
いくから

ジュネスとか
色々売ってて便利
だけど

あ、そうだ

どっか寄りたい
所とかない？

でもお腹空いて、
商店街の総菜大
ビフテキとか

……
いえ

どうも

あ
小西酒店の
姉弟だ

また姉弟
喧嘩してら

あの子達よく
姉弟喧嘩してるん
だよー

まあ喧嘩する程
仲がいいって
いうけど

菜々子ちゃんには
お兄ちゃん出来た
ようなもんだし
喧嘩しちゃう
かもな？

しないよ！
菜々子喧嘩
嫌いだもん！

足立さんは
兄弟とか
いないの？

……んー？

いるよ……
でもそんなに
会わないかな

あ、
でも

甥っ子君の事
子供の頃から
知ってるし
見てるから

甥っ子君が
弟みたいなものかな
かなー

この子、
子供の頃から
凄くてねー
初めて会ったとき
4歳で家出して
夜迷子になつて
たんだよ

迷子に
なつたのがよほど
怖かったのか
びーびー
泣いてさ

僕にしがみついて
離れなかった
よねー

もう
やめて下さいよ
足立さん
脱すかしらな

ねえ

君どこから
来たの？

ご両親は？
お家どこ？

家に帰らないと
お母さんお父さん

うっ

すごい力

離れたく無い

ぎゅーぎゅー

う



分った
親御さんに
電話する
んだね



…電話…

電話します…
電話ボックス
連れて行って
下さい



おい!
こんな所に
いたのか!



どうしよう
離れてくれない



警察官

姉貴から
居なくなつたつて
聞いて方々
探しまわつたぞ

まったくこんな
遠く迄どうやって

なんで警察官が

補導とかされたら
親に連絡が…

あ

あの…
その…僕は

この子が
迷子みたい
だったんで一緒に…

も…

もう大丈夫
みたいなんで
帰ります！

え？

は…離して

僕…帰り
なくちゃ…

離れたく
無い

そんな事言つたつて…

えらい
懐いてるな

坊主
もう夜も遅い
送ってやる

あ…いや
いいです…自分
1人で帰れます

遠慮するな
家に親御さん
いるだろ

遅くなったのは
迷子保護して
いたからだ
説明してやる

いや…本当…
それに今家には
両親いませんし…



やっど
子供らしい
顔つきになった

世界の終わり
みたいなの
くれー顔
しやがつて



家に親
居ないんだな

だったら
このまま
一緒に居ても
平気だな

一緒に来い

こいつと
一緒に居てくれた
礼にラーメン
奢ってやる

いや本当
いいです

え？

こいつの親も
よく仕事の関係で
家を空けるんだ

仕事の為と
いえ子供ながら
聞き分けがいいが

この歳で
こんな遠く迄
家出するとは...

本当は
寂しかったん
だろうな

もの静かで
あまり他人に
懐かないこいつが
お前にこんなに
懐いてるのは

どこか自分と
同じ所を
感じとっている
かもな

俺は
堂島遼太郎

この子の
叔父にあたる

今日
出会ったのも
何かの縁だ

何か…そんな
顔するような
事があつたんだろ

話ぐらい
聞いてやるぞ





それが

堂島さんと

この子との出会い

あの頃僕ちよつと
すさんでてさ…
最初は堂島さんの事
つっぱねたんだ

でもこの子が
よく家抜け出して
僕に会いに来る
もんだから

なんか凄い
関わり持つ様に
なっちゃって



何?
正立の事?


え!?
何で君に正立の事?





僕の
天職は

警察官でしょう

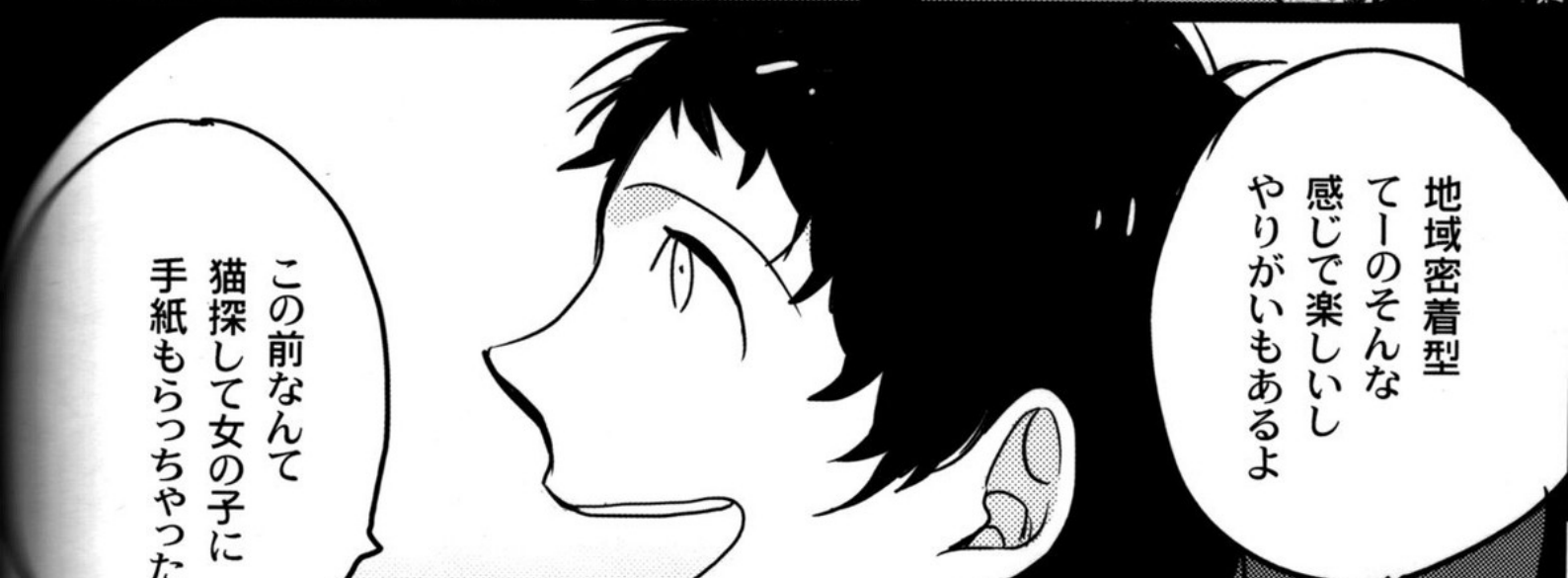


僕優秀だからさー
エリートコースも
いけたんだけど

上はごたごた
してそうだし
やめたんだよね

この町に来て
堂島さんと
相棒組めたし

特に大きな
事件とかは
起きないけど



地域密着型
てーのそんな
感じて楽しいし
やりがいもあるよ

この前なんて
猫探して女の子に
手紙もらっちゃった

それに警察官になつたら鉄砲撃てるしね

あ、これ堂島さんには内緒ね

…はい

はい

ロキエツ
たまたま前見の運転士さん
にめいめいした
ニギヤサキス

分ってますよ

足立さん

あー今日も食べたなー

やつぱ
千里さんの
作るご飯
美味しいなあ

お嫁さんもらったら
あんな美味しい料理
毎日食べれるの
いいよな！

今お見合い
勧められててさあ
する気は今の
所ないんだけど

煮物とか
ちようどいい
煮加減で
ぱくぱく
食べちゃう

僕硬いレンコン
嫌いだから
あれぐらいが
ちようどいいね

僕が太ったの
絶対千里さんの
料理のせいだ

あの煮物
作ったの
俺です

それに
足立さんが
太ったのは
歳だからでは

…昔は
小さくて可愛
かったのに

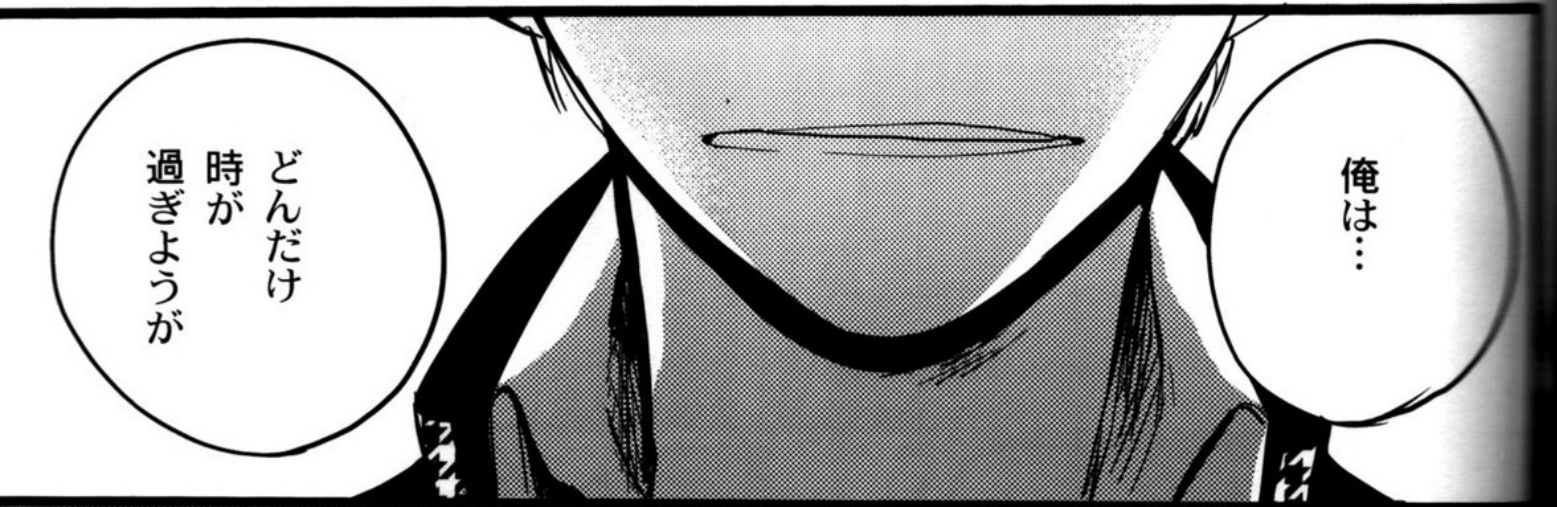
いつの間にか
身長も追い抜かし
やがって

昔は僕の事好き
好きって言って
離れなかったガキが
言う様になって

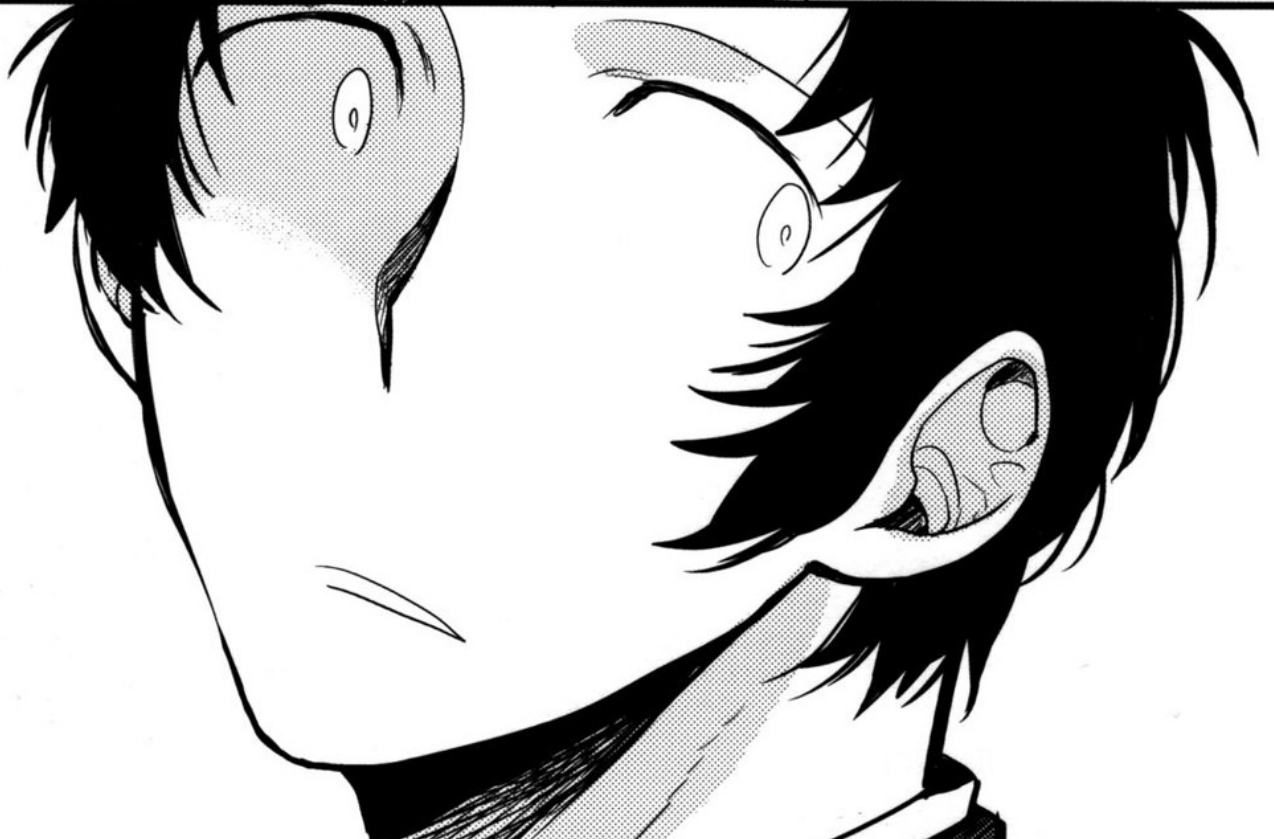
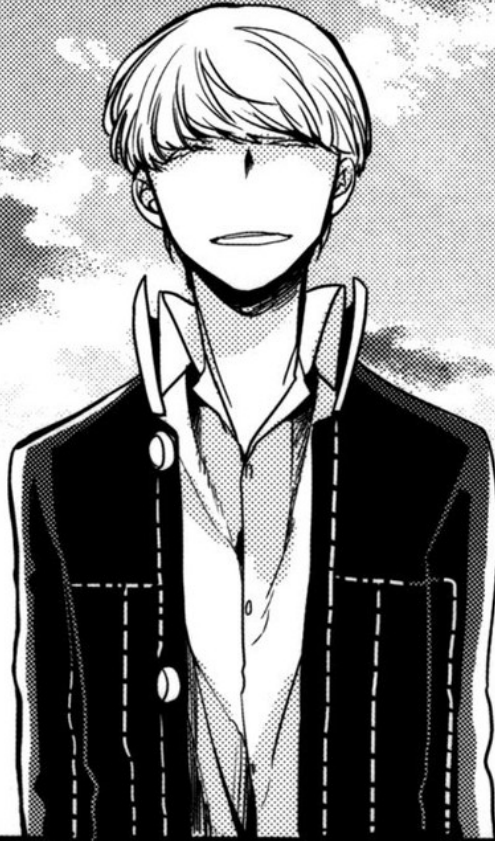
あつ！
このクソガキ
言う様に
なりやがっ

今でも十分
可愛いですよ

ほっころり
そういう所が
可愛くないんだ



貴方が好きですよ





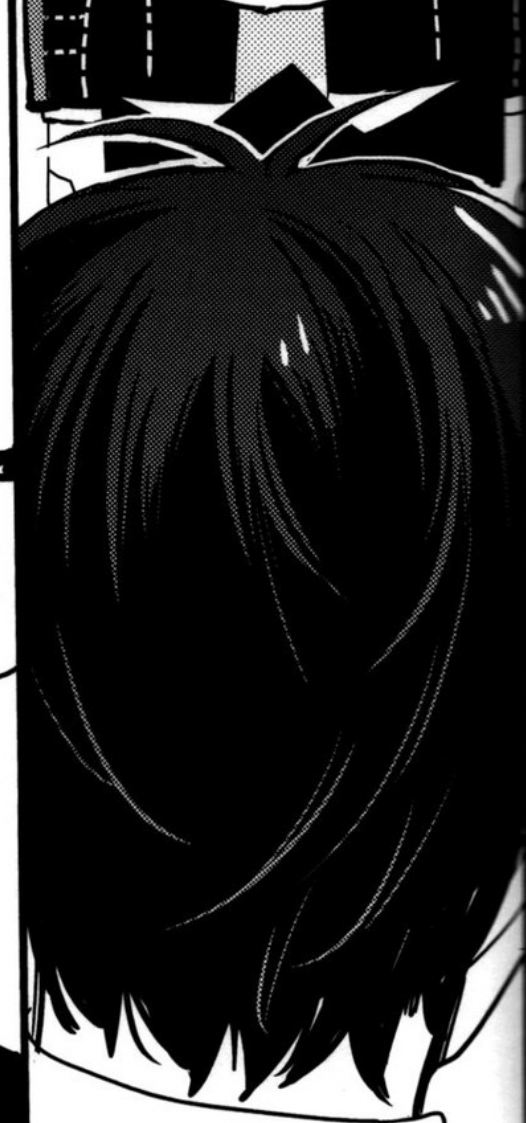
それを…
忘れないで
下さいね



…でつたー
天然たらし

そういう事はね
可愛い女の子に
言うもんだよ

女の子だったら
一発で落ちてたね




あれ？
足立さんには
効きま
せんか？


なーに
言ってるの
効く訳ないだろ

……

僕男だ



足立さんが
好きです




君は
堂島さんの
甥だ

弟の様に
思つて
きたんだ

無理だよ



好きです



すごく美人で
料理上手で

しかも
僕の事凄く
好きな子

僕に好きな子が
いたらどうするの

それ
でも

貴方が
好きだと
言い続け
ます



俺は
いつでも
本気で
です

俺は

貴方が
好きです

本気なん



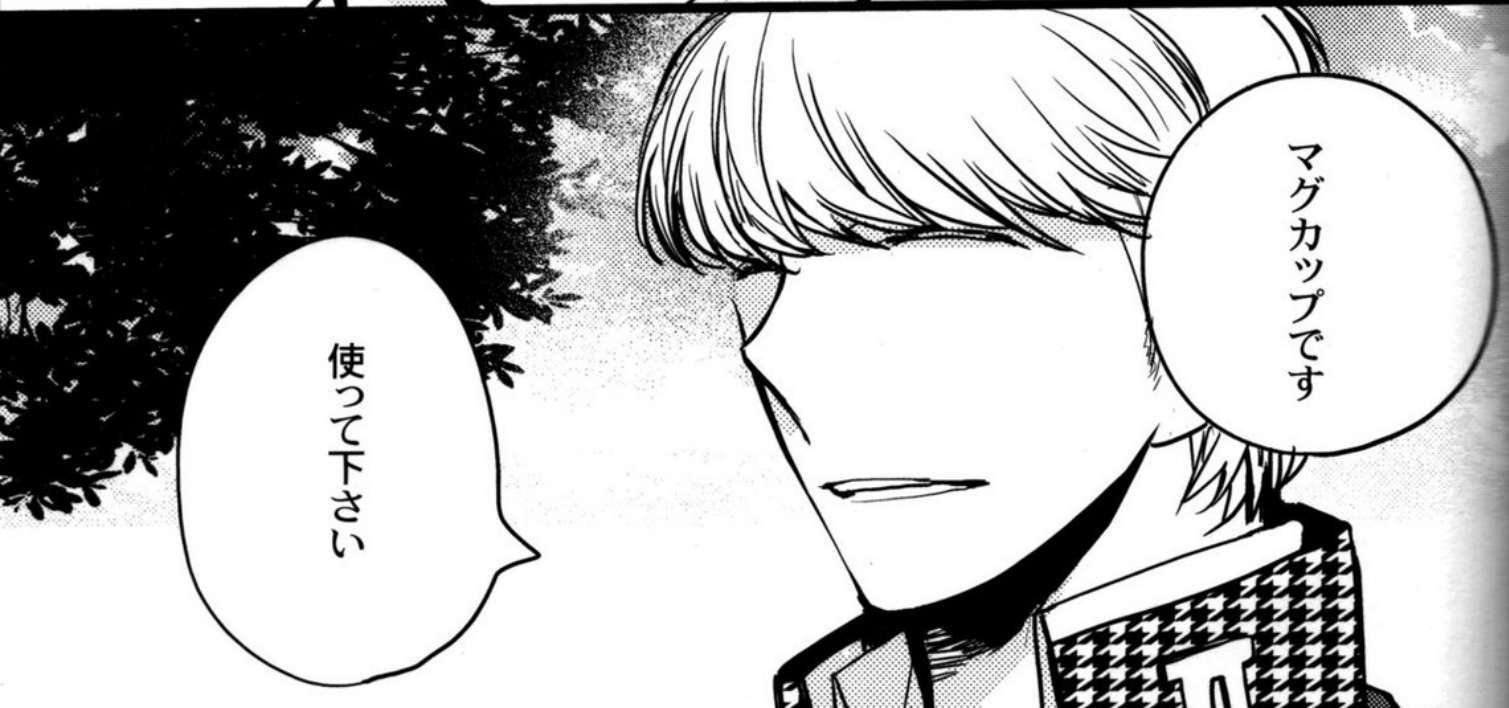




受け取って
下さい



何これ
.....



マグカップです

使ってください

何でマグカップ？

それにプレゼント
もらうのに…
僕誕生日近くないよ

いいんです
特に
意味は
無いんで

俺が
あげたかった
だけですから



…？

まあ折角だし
有り難く貰う
けどごういうの
僕すぐ割っちゃうよ

知ってます

使ってくれる
だけで嬉しい
ですから

割れる物
ですし
気にしないで
下さい

もし割れたと
してもまた買って
きますから

えー

それは
悪いよ


いいんです
俺が
あげたいん
ですから







有り難う



それじゃ
お見送りの
有り難うここで
いいから

それじゃ
また明日ね！



……はら

足立さん

また
明日

俺が巡り願い
辿りついた世界は

誰も死んだりしない世界

ただ静かな田舎町に
突如事件は起きる

でもそれは

連続殺人事件などではなく

連続神隠し事件

神様が戯れに
テレビの中の世界人を
誘うというもの

俺と仲間達

そして刑事の堂島さんと足立さんは
事件を追い

そして無事に事件は解決する



あの世界で
感じた
視線は
もう感じない

この世界は
つまらないので
消えたのかも
しれない

続くのはなんの
変哲も無い日常

俺が望んだ
誰も敗者にならない
つまらない世界

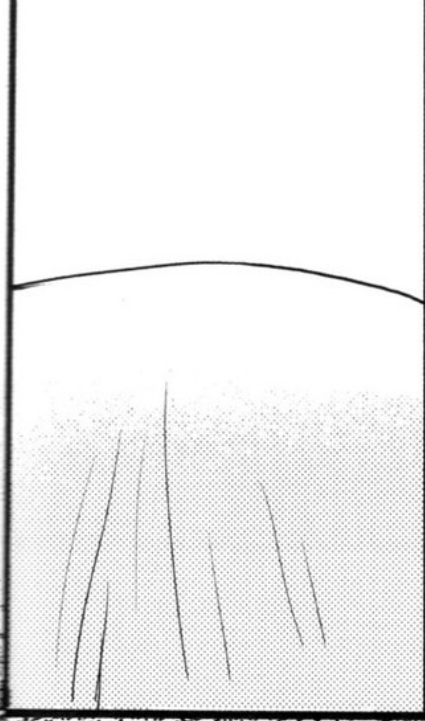


足立さんは寿命で死んだ

彼の死顔はとても安らかで

最後に俺に感謝の言葉をくれた



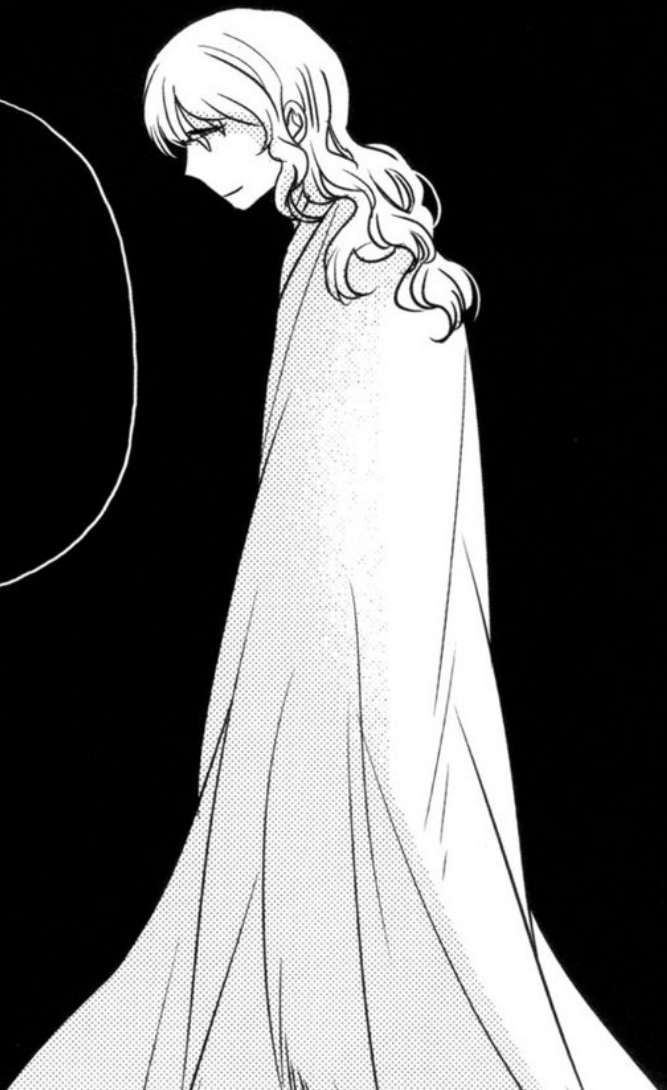


らや...



虚無

足立透が死んだのか





……
長い長い
悠久の時

世界を繰り返すのには
人間の魂ではもたない
いずれ魂は壊れてしまう

糸より細い
微かな希望にすぎり
やつと辿り着いた
世界

その代償に
お前は人では
なくなった



神に近い
存在



だがまだ
僅かながら人の
部分も残っている

このままだと
わずかに残る
人の部分も
無くなり

完全な神になるがな



神は
人とは共に
歩けない

神になった
お前は

あの者達の
所へは
行けない

それを
知ったうえで
世界を繰り返し
たな



…私なら

なに…
頑張った
お前への

神様からの
ご褒美だよ

まだ間に合う



俺は：
世界を自分の
願いの為だけに
変えてしまった
許される事じゃ
ない

だがあの
世界のままだと
誰かが罪を
背負ったな

罪を背負った
魂は地の底へ
落ちる

天へ昇った
魂とは会えない


お前の
罪は

私が
引き受ける

私も
願っていた


この人の子の
魂が救われるのを





手を煩わせるな

.....



気にするな

私は人の望みを
叶える女神だ

さあ残った
人の部分で
強く強く願って
ごらん

何を
望む
人の子よ

人として死にたい



終わらせてくれ

皆の所へ...



イザナミ

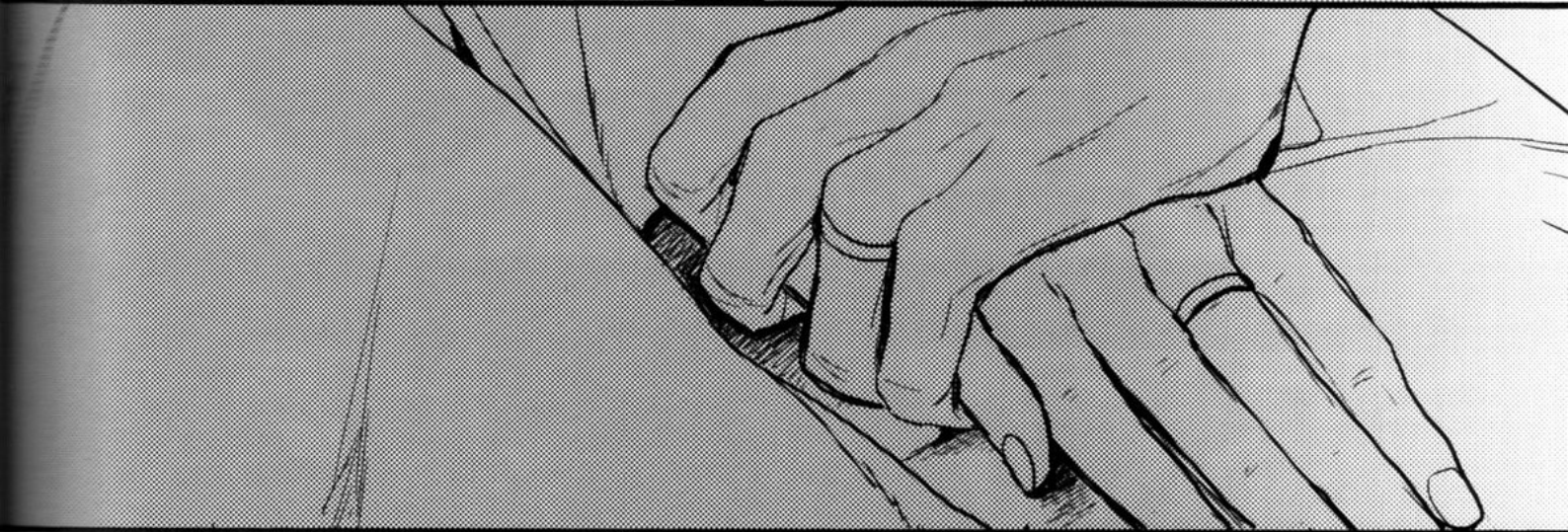
有り難う

神と人は
共には行け
ないが

なに…
すぐに
また
会えるさ

マリーは
離れるのを
嫌がつて
いたがな

待っているぞ
人の子よ



振り返らずに
まっすぐ進め

先に行つた
人の子に
無事に会えると

願っているよ

人の子よ
見事なり

はあ

はあ





待ってたよ

やあ

生ききつて
きたみたいだね

ちやんと



俺：
足立さんに…

色々酷い
事を
したんです

でも

…

足立さんと
会えて
嬉しい

すみません

君は

本当に

馬鹿だね

記憶には
ないけれど
覚えてる

胸に大きな穴が
あつてさ僕を飲み込んで
しまうんだ、穴に
落ちた僕は深い深い底へ
向かつて落ちていく


もがいてももがいても
自分ではどうしようも
出来ないんだ

寒くて暗くて
寂しくて苦しい
でもそれも感じ
なくなつて

そんな感覚を
覚えてる

でもふいに

そんな感覚に
襲われそうに




君の手の温もりが
僕を繋ぎとめて
くれた



胸にあいた穴が
どンドン無くなつて
いく感じ

きつと…

君がいてくれたから
君と出会えたから



僕はここに
居るんだなつて
思うんだ

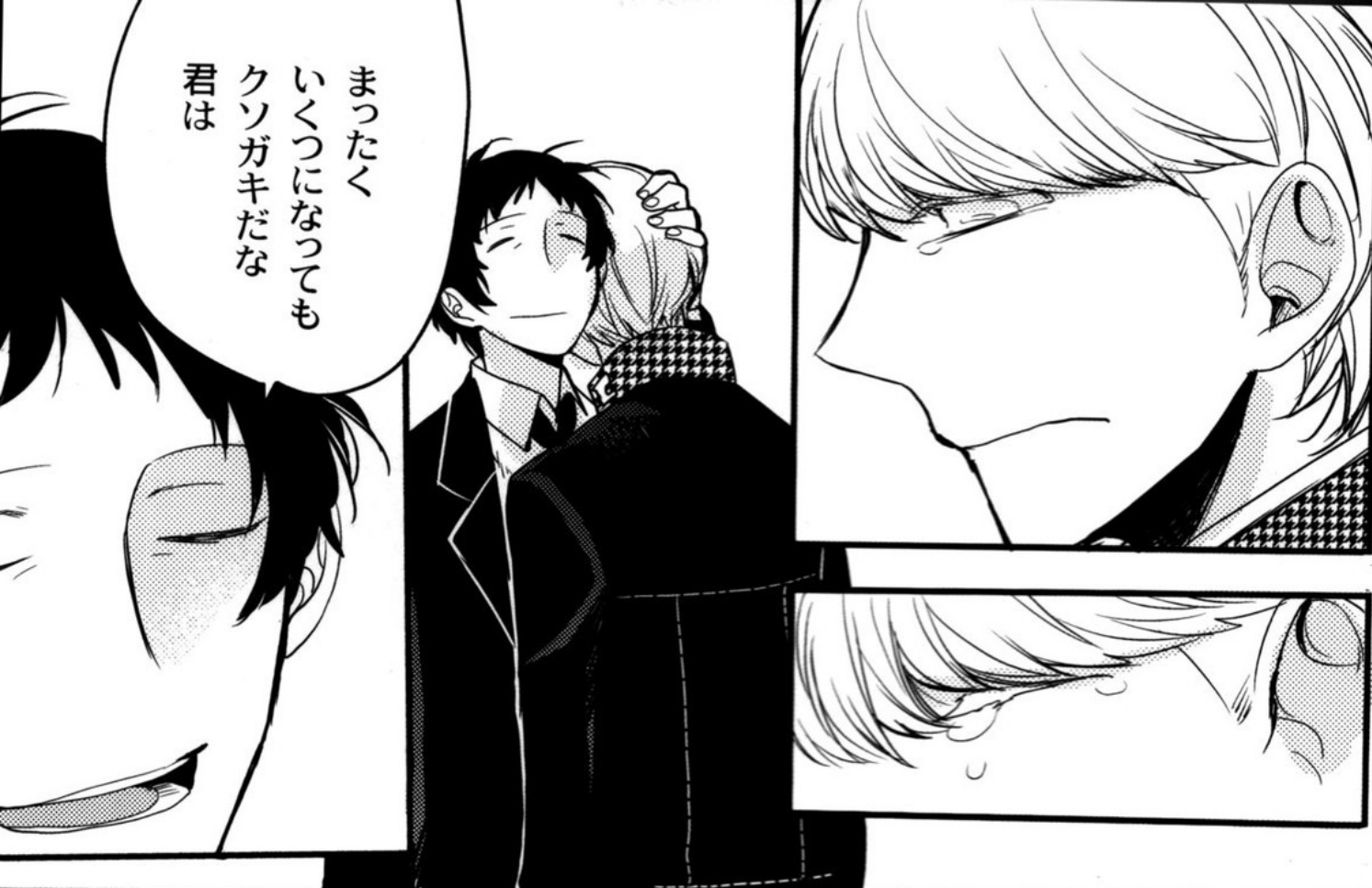


有り難う




僕は

君に出会えて
よかつた





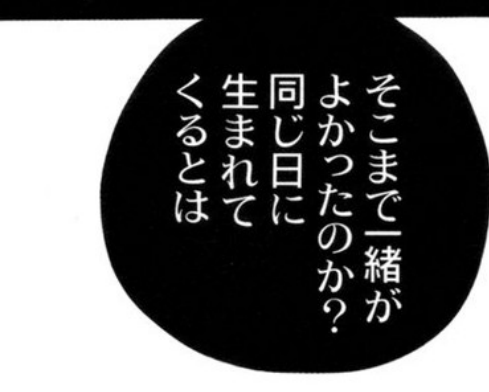


次の世界も
一緒に生きられる様に

THE END OF THE WORLD

こんにちは、S木チズルといます。
長々と続いた続き物これで終わりです。
足立さんが何で山野アナの不倫にあそこまで
怒ったのかったのを考え足立さんの過去妄想して
出来た話でした。なんかもう…やりたい放題な感じで
すみません…
何はともあれ世界を終わらせて
よかったなーって思います。
ここまで読んで下さって有り難うございました!

20150111
まがいもの八十稲羽支店
S木チズル
magaininninnin@yahoo.co.jp
print BRO,S
twitter @esuki_p4



新しい世界へ

A New World Fools.





SCANNED BY:
ADACHI-TAN!

PLEASE
DON'T
REMOVE
THE
CREDIT
PAGE!

お
↓

ADACHI-TAN.TUMBLR.COM